

令和2年度 第1回ゆりはま創生総合戦略会議

日 時 令和2年6月5日(金)
10時～

場 所 湯梨浜町役場 第1・2会議室

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に係るKPI及び具体的事業の概要と取組状況について・・・資料1～5

5. 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改正について・・・資料6

6. その他

7. 閉 会

ゆりはま創生総合戦略会議委員名簿

任期：令和元年5月27日～令和3年5月26日（2年間）

敬称略

	区分	役職	氏名	備考
1	産 湯梨浜町商工会	会長	中島 守	
2	産 J A 鳥取中央	湯梨浜営農センター長	西村 好美	
3	産 株式会社 栄進工業	代表取締役	坂田 康則	
4	官 湯梨浜町	町長	宮脇 正道	
5	学 鳥取看護大学・鳥取短期大学	理事長	山田 修平	
6	学 東郷湖・未来創造会議	会長	遠藤 公章	
7	学 女性団体連絡協議会	理事	井土 美智子	
8	金 山陰合同銀行	羽合支店長	堀本 進吾	
9	金 鳥取銀行	羽合支店長	中原 良太	
10	金 日本政策金融公庫	鳥取支店事業統轄	武智 徹	
11	労 倉吉公共職業安定所	所長	齋木 和紀	
12	労 労働団体の関係者		加藤 一	
13	労 労働団体の関係者		岡本 梓	
14	言 新日本海新聞社	編集部報道課デスク	石原 美樹	
15	公募 男性公募		中森 圭二郎	
16	公募 女性公募		佐相 亜友美	

17	鳥取県中部総合事務所 中部福祉保健局地域振興局	副局長	小谷 昭男	コングレージュ（湯梨浜町民会）
18	湯梨浜町	副町長	亀井 雅議	
19	湯梨浜町	教育長	山田 直樹	
20	湯梨浜町総務課	課長	杉原 寛	
21	湯梨浜町議会事務局	局長	山根 薦	
22	湯梨浜町出納室	室長	森 輝信	
23	湯梨浜町建設水道課	課長	斎藤 聡	
24	湯梨浜町産業振興課	課長	西原 秀昭	
25	湯梨浜町企画課	課長	上井 明彦	
26	湯梨浜町町民課	課長	尾坂 英二	
27	湯梨浜町子育て支援課	課長	杉原 美鈴	
28	湯梨浜町総合福祉課	課長	竹本 里香	
29	湯梨浜町健康推進課	課長	林 紀明	
30	湯梨浜町長寿福祉課	課長	山田 志伸	
31	湯梨浜町教育総務課	課長	岩崎 正一郎	
32	湯梨浜町生涯学習・人権推進課	課長	山崎 有紀子	
33	湯梨浜町中央公民館	館長	宮脇 一善	
34	湯梨浜町立図書館	館長	杉村 和祐	
35	湯梨浜町国民宿舎水明荘	支配人	小椋 誠	
36	湯梨浜町みらい創造室	室長	遠藤 秀光	事務局
37	湯梨浜町みらい創造室	未来創造係長	谷岡 雅也	事務局
38	湯梨浜町みらい創造室	活力創造担当係長	音田 将人	事務局
39	湯梨浜町みらい創造室	未来創造係主事	松岡 七海	事務局

参考資料:湯梨浜町の人口動向

資料1

○令和元年の出生数は前年に比べて増加しているが、死亡者数も前年に比べてさらに増加のため、自然減は前年より増加傾向にある。
 ○令和元年の町外からの転入は転出を下回っているため、社会減となっており、県外からの転入も、社会減となっている。

1 自然動態の推移

【自然動態の推移】

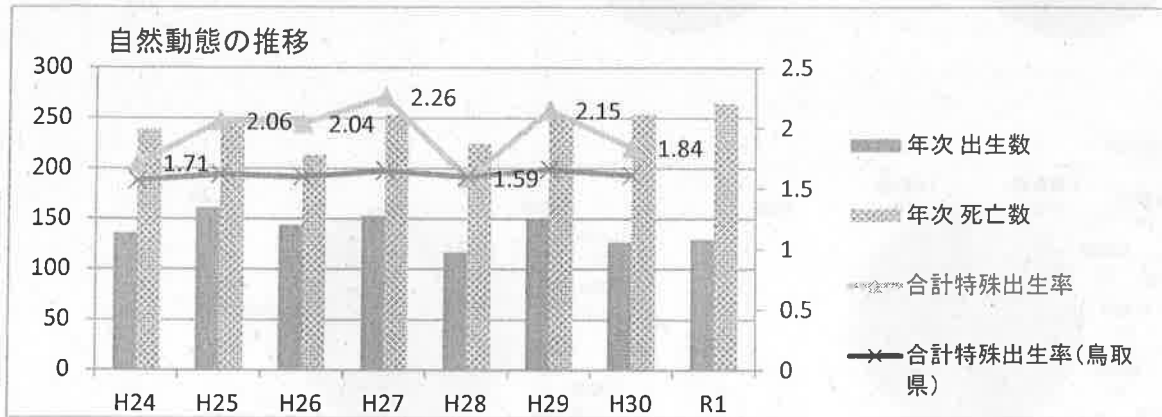
※R1については、12月31日現在

年次	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
自然増減	▲ 103	▲ 83	▲ 70	▲ 100	▲ 108	▲ 99	▲ 127	▲ 135
出生数	136	161	144	153	117	151	127	130
死亡数	239	244	214	253	225	250	254	265

【出生数と合計特殊出生率の推移】

※R1については、12月31日現在

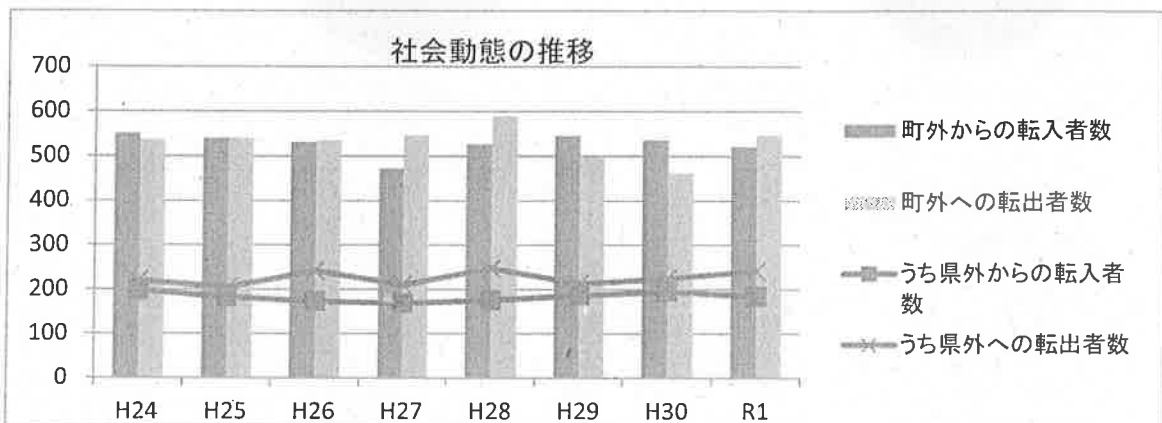
年次	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
出生数	136	161	144	153	117	151	127	130
前年比		25	▲ 17	9	▲ 36	34	▲ 24	3
合計特殊出生率	1.71	2.06	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84	
合計特殊出生率(鳥取県)	1.57	1.62	1.60	1.65	1.6	1.66	1.61	



2 社会動態の推移

【社会動態の推移】

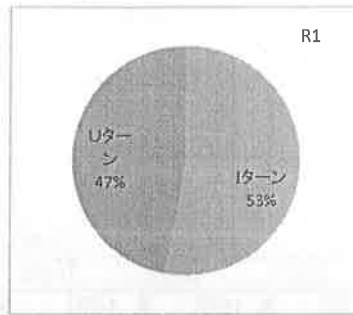
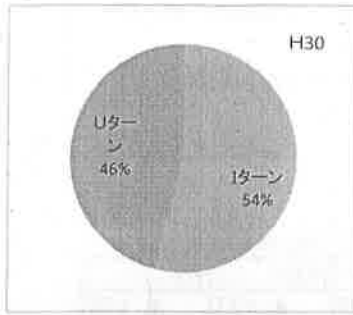
年次	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
社会増減	14	0	▲ 4	▲ 75	▲ 62	47	74	▲ 25
町外からの転入者数	551	540	531	472	527	545	535	521
町外への転出者数	537	540	535	547	589	498	461	546
うち県外転入増減	▲ 21	▲ 22	▲ 69	▲ 41	▲ 72	▲ 26	▲ 30	▲ 57
うち県外からの転入者数	199	183	173	169	176	187	195	185
うち県外への転出者数	220	205	242	210	248	213	225	242



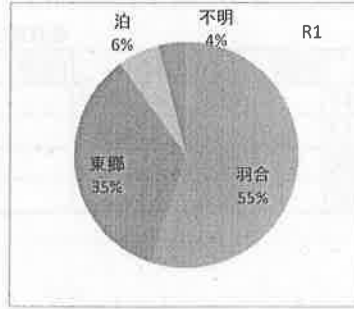
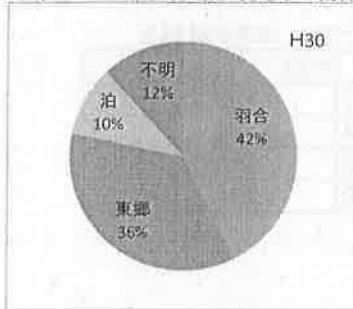
出典: 出生数、死亡数、転入出者数…「鳥取県の人口推計」

合計特殊出生率…人口動態調査(厚生労働省)をもとに県福祉保健課が算出

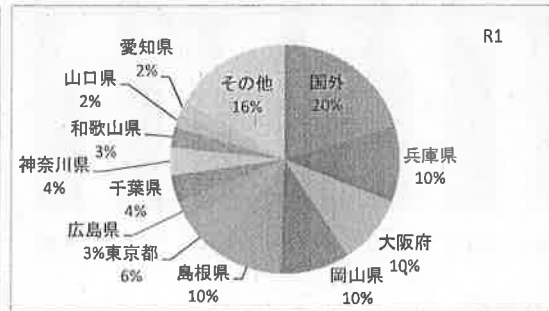
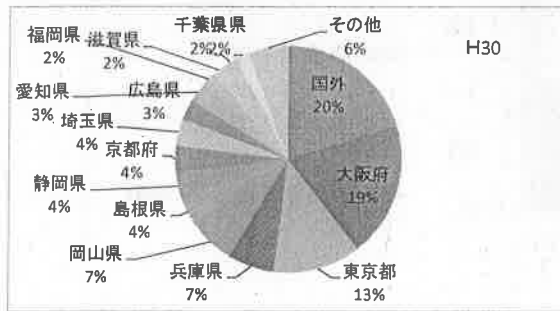
●県外からの移住 Uターン、Iターンの割合



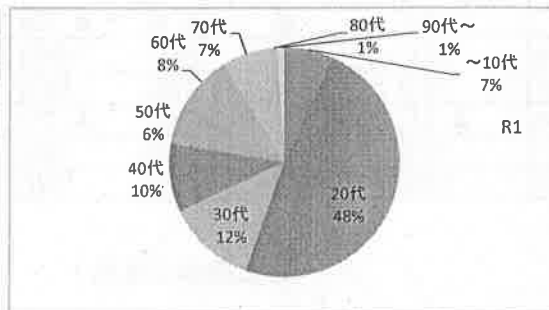
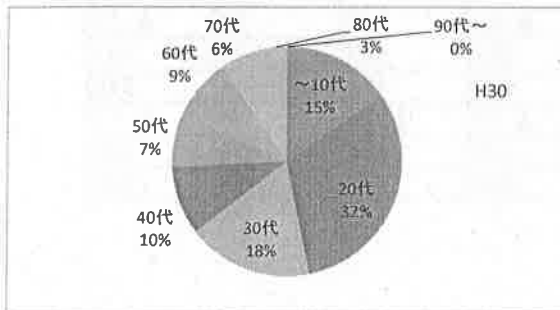
●県外からの移住者 転入先地域の割合



●移住前の住所



●移住者の年代



第1期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組結果

1. 取組状況の概要(令和元年度)

取組が達成済あるいは計画どおり以上に進んでいる項目は約6.5割(64.9%、61/94項目)

評価区分	5年目評価	(参考)4年目評価	(参考)3年目評価	(参考)2年目評価	(参考)1年目評価
A: 達成済、事業完了	4	6	3	1	0
B: 計画以上に進んでいる	0	5	6	7	21
C: 計画どおりに進んでいる	57	49	53	58	35
D: 計画より遅れている	33	37	36	26	18
E: 未着手、未実施、先送りなど	0	0	0	2	1
合計	94	97	98	94	75

2. 基本目標の実績

項目		1年目実績	2年目実績	3年目実績	4年目実績	5年目実績	5年目目標値
しごと	温泉宿泊客数	167,885人	157,589人	154,570人	133,110人	135,662人	16万人(年間)
	新規就業者数(常用雇用)	189人	205人	227人	177人	159人	200人(年間)
ひと	合計特殊出生率	2.04	2.26	1.59	2.15	1.84	1.95
	出生数	143人	109人	159人	137人	127人	160人(年間)
まち	県外からのIJUターン者数	177人	176人	189人	185人	195人(累計922人)	累計850人
	転入転出異動	▲75人	▲62人	47人	74人	▲25人	H31年度均衡

資料 4

総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧
基本目標 I 活力ある元気なまち

●数値目標 (令和2年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6		
温泉宿泊客数	今後も現状の宿泊客室数を維持することを前提に、国内交流人口の減少が見込まれる中ではあるが、教育旅行やコンベンションの誘致、インハウンドの促進など多角的な取り組みにより、R1実績を上回る宿泊客数を目指す。	【年間】 135,662人						17万人 (年間)	旅館組合宿泊客数報告による。
新規就業者数 (常用雇用)	今後の労働力人口の減少と現在の雇用情勢の継続による減少と、地方創生企業支援金・移住支援事業による東京圏からのUJターンによる起業、就業者の増加により、現状維持を見込む。	159人					200人 (年間)	町民が町内・町外の企業等に就職した常用的雇用者数。倉吉公共職業安定所(ハローワーク倉吉)から情報提供。①H30.4~H31.2の雇用者数=154人②H31.4~R2.2の雇用者数=139人R1雇用者見込み=H30実績×②/①=159人	産業振興課

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績					目標値 (R6)	担当課	
					R2	R3	R4	R5	R6			
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進 ○新規就業者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	梨栽培面積	急峻で生産性の低い二十世紀梨園の減少に対し、平坦で生産性の高い新品種も含めた梨園を増やし、全体面積をR1年度対比1割減の面積で留める。	138ha						JA、東郷果実部により今年度産の面積を累計。二十世紀梨82ha その他56ha 計138ha	梨全体 130ha	産業振興課
		新品種への改植・新植	R1目標では、スーパー梨団地や松崎駅南団地の新植により目標を達成した。今後も果実励品の積極的な導入を支援し、上段梨全体130haを維持するために年間1haの増加を図っていく。	2.48ha 【累計】 6.09ha						補助金を活用した植栽面積を累計。 松崎駅南梨生産団地 1.45ha その他新植1.03ha 計2.48ha	新品種 5.0ha	産業振興課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	実績						目標値 (R6)	担当課		
				R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等				
農林水産業の振興	○二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大園」の推進 ○新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進 ○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓 ○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策 ○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興	新規就農者	就農相談件数は毎年一定数あり、梨産地再生プラン等による就農者確保や支援に積極的に取り組む、国・県事業活用者を年2名ずつ増やす。	2人 【累計】16人						親元就農:2人	新規就農者 10名増	産業振興課	
		認定農業者(家)数	既存農業者への声掛け、新規就農者の経営発展などで新たな認定農業者を年2名ずつ増やす。	1経営体 【累計】47経営体						新規認定:1経営体	新たな認定農業者 10名増		
		GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	GI申請に向けた準備を進めている「東郷梨二十世紀」の認証と、商標権未取得の農産物(野花梅、とまり美人等)について取得に向けて継続して取り組む。	0件 【累計】1件							生産者団体が東郷梨のGI登録申請の準備に取り掛かったが、期間を要する手続きとなり今年度に認証を得ることは難しい。その他商標権等取得に向けた動きはない。		3件
		利用権設定面積	農業者の高齢化・後継者不足により耕作を依頼される農地は増えたと見込まれる。一方で、担い手の耕作可能面積にも限界がある。荒廃農地の発生を防ぐため、担い手への農地集積を年8haずつ増やす。	5ha 【累計】264.9ha							農地基本台帳より		利用権設定面積 【累計】300ha

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	実績						目標値 (R6)	担当課
				R2	R3	R4	R5	R6			
農林水産業の振興	<p>○二十世紀型等の特産物を活かした「果物大園」の推進</p> <p>○新規就農者の増加支援 担い手確保・育成、集落営農化の促進</p> <p>○農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓</p> <p>○遊休農地及び耕作放棄地解消への対策</p> <p>○東郷池や日本海の豊富な海産物を活かした漁業の振興</p>	シジミの漁獲量	<p>R1目標の成果としてH28から連続して120トン以上の漁獲が確認されてきた。しかし自然環境の悪化により、生息数の減少が確認されている。水質管理により生産量をあげていき、計画期間の累計を560トンとする。(栽培漁業センターと協議)</p> <p>R2～3 100t/年、R4～6 120t/年</p>	95t						<p>【累計】560トン</p>	産業振興課
		漁業経営体数	<p>高齢化により経営体の減少が進むが、定置網漁業や朝市の開催、陸上養殖で港周辺を活性化し、沿岸漁業の魅力発信に努め、県の補助制度である独立型漁業研修事業を活用しながら、新たな経営体の育成を図る。</p>	<p>0経営体【累計】40経営体</p>					<p>泊地域30 羽合地域10 昨年同数</p> <p>現状維持 40経営体</p>		
観光産業の振興	<p>○「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進</p> <p>○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)</p> <p>○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進</p> <p>○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)</p> <p>○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客</p>	海外からのイベント参加者数	<p>(グラウンド・ゴルフ) 海外へPRをしながら海外からの参加者数を年間200人を目指す。2021年度のワールドマスターズゲームズにおいて目標を480人とする。5年後1280人の参加増を見込む。(ウオーキング) 済州オウルレとの「友情の道」協定をR2.6締結予定であり、締結後の相互PRにより済州オウルレ関係国からの来町を見込む。(近隣国として台湾、韓国から各20名を見込む。)</p>	<p>■GG 149人</p> <p>■天女ウオーキング 0人</p> <p>【累計】 816人</p>					<p>(グラウンド・ゴルフ国際大会) 韓国94人、モンゴル24人、台湾6人、中国5人、ポーランド6人、アメリカ3人、マレーシア 10人、スリランカ1人(ゆりはま天女ウオーキング) 韓国0名(※台風により大会中止のため)</p>	<p>【累計】 2296人 (1480人増)</p>	産業振興課 / 生涯学習・人権推進課 / 健康推進課
		海外からのイベント参加国数	<p>(グラウンド・ゴルフ) トップセールス他海外へPRを行い新規参加国を増やすとともに、これまで参加している国の継続した参加を見込む。年間10か国の参加を目指す。合わせ新規参加国を5年間で10か国を目指す。(内数)</p> <p>(ウオーキング) 済州オウルレとの「友情の道」協定をR2.6締結予定であり、締結後の相互PRにより済州オウルレ関係国からの来町を見込む。(近隣国として台湾、韓国2か国。)</p>	<p>■GG 8か国</p> <p>■天女ウオーキング 0か国</p> <p>【累計】 49か国</p> <p>【実参加国累計】 22か国</p>				<p>(グラウンド・ゴルフ国際大会) 韓国・モンゴル・台湾、中国、ポーランド、アメリカ、マレーシア、スリランカ(新規参加国3)(天女ウオーキング) ※台風による大会中止のため</p>	<p>【累計】 109か国(60か国増)</p> <p>【実参加国累計】 32か国(10か国増)</p>		

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	実績						目標値 (R6)	担当課		
				現状値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6				
外国人宿泊者数	<p>○「グラウンド・ゴルフ」や「ウオーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進</p> <p>○はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)</p> <p>○天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進</p> <p>○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)</p> <p>○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客</p>	<p>外国人宿泊者数</p>	<p>H26(5,303人)～H30(6,689人)の5年間の増加率126%を用いて算出。</p> <p>直近H30の実績6,689人×増加率1.26≒R6目標8,500人</p>	<p>【年間】 4,018人</p>							<p>旅館組合宿泊客数報告による</p>	<p>年間8,500以上</p>	
着地型観光商品利用者数	<p>○観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)</p> <p>○戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客</p>	<p>着地型観光商品利用者数</p>	<p>令和元年度は国際情勢や渡航手段の運休により韓国ツアーの客足が激減し、実績も異例の低い数字となることが見込まれるため、直近の実績であるH30年度(1,724人)を基準とし、20%増の2,000人を目標とする。</p>	<p>-512人 【年間】 1,155人</p>							<p>観光協会実績報告により 教育旅行947人 滝床料理95人 その他 113人 計 1,155人</p>	<p>年間2,000以上</p>	
R1実績	<p>○事業所の新設や分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援</p> <p>○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進</p> <p>○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進</p> <p>○商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進</p>	<p>支援制度を活用した事業者数</p>	<p>R1実績見込みに、地方創生起業支援金による東京からのUIJターンによる起業を加えて設定する。</p>	<p>8件 【累計】 32件</p>							<p>■雇用促進奨励金=4件 ■ゆりはまじげ産業育成補助金=4件</p>	<p>5件 【累計】 25件</p>	
R2実績	<p>○事業所の新設や分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援</p> <p>○地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進</p> <p>○ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進</p> <p>○商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進</p>	<p>事業承継に着手した事業者数</p>	<p>引き継ぎに向けた取り組みを始める事業者を年間1事業者ずつ増加させることとして設定する。</p>	<p>-</p>							<p>1事業者 【累計】 5事業者</p>		
R3実績	<p>○地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出</p> <p>○就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進</p> <p>○高齢者の経験や知識を活用した就労の支援</p>	<p>支援制度を活用した雇用人数</p>	<p>R1実績見込みに、地方創生移住支援金による東京からのUIJターンによる就業を加えて設定する。</p>	<p>4人 【累計】 14人</p>							<p>雇用促進奨励金(交付決定および支払い)=4件</p>	<p>3人 【累計】 15人</p>	

産業振興課 / 企画課

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち
第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) 一覧

●数値目標(令和2年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
合計特殊出生率	H30の国の合計特殊出生率1.42、県1.61で年々減少傾向にあることから、現状維持を目標とする。	1.84 (日本人人口1.88)							2.07	子育て支援課
出生数	過去5年出生数平均134人。出生数はわずかに減少傾向にあることから、第1期当初(H27)の出生数維持を目標とする。	127人							150人 (年間)	子育て支援課

●具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
子育て環境の推進	○安心して子育てができる保育サービスの実施など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減) ○妊娠前から子育て期に行わたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進 ○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進 ○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進 ○地域の中で育ち、差別の受けしさを体験し、ふるさとに愛着をもち大切に守ってほしいとするふるさと教育の推進 ○仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進	2歳未満児を家庭で育てる率	年度末時点において、2歳未満児を家庭で育てる率を70.3%以上とする。H30年度末時点において67.3%、年間0.5%増とし、今後6年間で3%増とする。	82.67%							70.3% (2歳未満児の家庭子育て率)	子育て支援課
		第3子以降出生数	過去5年間で目標値の年間30人を上回ったのは平成29年度の6年間であり、H26~R1の6年間についての平均出生数は28.8人であったため年間での目標値を引き続き30人とし5年間での合計を150人とする。	26人 【累計】 145人						150人	令和元年度3月末時点で祝金の支給決定、支払いした件数	
		こども園待機児童数	待機児童解消を目標とする。	4人							0	1月末時点の入園申込み状況による見込み。

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	実績						目標値(R6)	担当課
				R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
子育て環境の推進	<p>○安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進(子育て世代の経済的な負担の軽減)</p> <p>○妊娠前から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化を推進</p> <p>○放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進</p> <p>○子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進</p>	自主学習の広場利用者数	<p>【小学生】 各教室20人程度の児童(対象学年の児童数の20%程度)を想定している。(沼小の20%程度は10人程度)</p> <p>【中学生】 各年とも対象となる中学1年生全体人数の20%の参加を目標に取り組んでいく。対象生徒数は約130~150人程度である。</p>	<p>小学生 57人 中学生 25人</p> <p>【累計】 小学生 259人 中学生 83人</p>						<p>小学生 250人 中学生 100人</p>	教育総務課
		ふるさとを愛する児童生徒の割合	<p>アンケートを実施し、「住んでいる地域や湯梨浜町が好き」の割合85%以上をめざす。</p> <p>設定根拠:昨年度のアンケート結果</p> <p>「地域や町が好き」の割合 83.4%</p>	87.4%					<p>住んでいる地域や湯梨浜町が好き 85%以上</p>		
子育て環境の推進	<p>○地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着をもち大切に守ってほしいとするふるさと教育の推進</p> <p>○仕事と生活の調和を図るワーキング・パランスの環境づくりを卒業生とともに推進</p>	鳥取県男女共同参画推進企業認定企業数	<p>第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を20社以上(単年度換算では1社以上)としていることからその目標値にR6年度分1社を加えた。</p>	<p>1社 【累計】 16社</p>					5社	企画課	
		イクボス宣言企業数	<p>第4次ゆりはま男女共同参画プランにおいてR5年度の目標値を15社以上としている。(現状7社)</p>							10社	企画課

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目構値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6			
地域福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域や個人に密着した健康づくりの推進 ○ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進 ○保健師等による定期制の訪問による、相談や生活支援が健康づくりを推進 	会世代・全員活躍まちづくり(生涯活躍のまち)事業に参画する民間事業者・団体数	参画団体を1年に1団体以上、合計5団体以上を参画団体増加を目指す。R1: 30団体→R6: 35団体	0団体 【累計】 30団体						35団体	みらい創造室	
食と健康のまちづくり事業による測定数値改善割合			参加者の体組成計データ抽出により、年初回と年末尾との測定結果(体脂肪率)を比較し、改善された者の割合を7割以上とする。	55.32% 【52人/94人】						70%以上	健康推進課	
結婚を希望する男女の出会いの機会を創出し、結婚の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○結婚を希望する男女の出会いの機会を創出し、結婚の推進 ○結婚を希望する男女の出会いの機会を創出し、結婚の推進 	結婚支援事業による結婚件数	鳥取中部マッチングによりマッチングできる機会が増えることによるため、年1件の増を望む。	0件 【累計】 1件						5件	企画課	

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち 第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)一覧

●数値目標(令和2年度)

目標指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
			R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
県外からのIUUターナー者数	H27～R1の5年間の累計が900人を超過する見込み。これまで1年あたり170人だった目標を185人に増やし、引き続きIUUターナー者数の維持・増加に努める。	195 【累計】922人							925	みらい創造室
転入転出異動	①H27～R1の5年間で均衡に近い数字となっている②年毎のIUUターナー者数は微増③転出者数が減っていない④人口ビジョンでは減少が見込まれる。の4点から、R2～R6の5年間の累計の均衡を目標とする。	△25							均衡 【累計】	

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等		
移住・定住の推進	○多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やIUUターナーの促進に向け広く本町の魅力を発信 ○若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進 ○空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進 ○移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る ○鳥取大学等との連携による「地(知)の拠点OC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る	空き家バンク成約件数	1期の目標であった年間4件増を継続し、R6目標値を累計で36件とする。ホームページによる速やかな情報提供を引き続き行うとともに、みらい創造室に配置した地域おこし協力隊による空き家掘り起しの取り組みとの連携により、空き家バンクへの物件登録件数を増やしていく。	3件 【累計】13件						20件	企画課	
		若者・子育て世代の移住件数	H27年度～R1年度の累計見込である94件を5年(1期分)で割った年約18件の増加を見込む。 東郷・泊地域などの中山村地域について、HPや広報紙だけでなく、住宅メーカーへのPRにより移住の促進を図る。	22件 【累計】91件						90件		

●具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

項目	具体的な施策	指標	設定の考え方	現状値 (R1)	実績						目標値 (R6)	担当課	
					R2	R3	R4	R5	R6	算出根拠等			
まちのにぎわい創出や拠点の形成	○町民や団体が主体となつて創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援 ○災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進 ○いつでも、誰もが集える拠点を整備するためハリアフリーなど環境づくりを推進 ○分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの実現を図る ○地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興 ○ICTの急速な進化がもたらす社会への対応 ○地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進	新規自主防災組織取組件数	町内全集落における自主防災組織の設立を目標とする	71件							自主防災組織設立実績	75	総務課
		集会所、パリアフリー件数	集会所パリアフリー改修について、前期の19件に加え、25件増加(年5件の増)を目標として取り組む。	19件							平成27年度 3地区 28年度 6地区 29年度 4地区 30年度 3地区 令和元年度 3地区 計 19地区	25件【累計】 44件	総合福祉課
		小さな拠点の数	泊地域での小さな拠点(買い物機能)の取組みの確立を引き続き目標とする。	0地域							平成28年9月に泊地域小さな拠点検討協議会を設立。 現在、小さな拠点(買い物機能)運営団体設立に向けて、地域住民が協議中。	1	みらい創造室
		温泉熱エネルギー利用施設数	引き続き国庫補助金や先進事例等の情報収集に努めながら、事業可能性のある有効な活用分野を捜索していく。	0施設							増減なし	1施設	企画課
		NPO法人、ボランティアグループの数	団体登録や補助申請の手続きの簡業化も検討して、1期の当初の目標であった7団体の増を見込む。	1団体【累計】 48団体							新規団体として1件登録あり。	7団体	企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略

資料 5

(単位:千円)

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
1 湯梨浜町 総合戦略 策定事業	<p>湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する事業を着実に実施していくとともに、成果検証を行い改善を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆総合戦略会議、成果検証会議委員報償金 44千円 ◆戦略会議2回開催予定 44千円 ◆報告会、説明会、研修会への参加旅費 318千円 ◆消耗品の購入、郵券料 70千円 <p>令和元年度に策定した第2期総合戦略に関する事業の着実な実施のため、成果検証のための会議を開催していく。</p>	総合戦略会議、成果検証会議、各1回以上開催する			みらい創造室
2 農産物販 路拡大及び ブランド化 推進事業	<p>二十世紀梨販路拡大PR事業</p> <p>30年度まで計画してきた進物用パンフレット作成については、内容などを再検討しJA東郷果実部で県の他事業を活用して作成していく。</p> <p>販路拡大、単価増額については、初売りなどへ出向き販売PRをして増収につなげる。</p> <p>【販売PRイベント】 芸人・観光大使活動謝金 12,000円 特別旅費 45,000円 PR用梨 10,000円</p>	梨の平均単価の単価増(最終的には全品目で+40円/10kg)			産業振興課
3 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ①	<p>鳥取柿ぶどう生産振興事業</p> <p>鳥取県が新規栽培を推奨している新品種(輝太郎、シャインマスカット)への新植、それに伴う園地の整備(ハウス新設、果樹棚、園内道、かん水施設等)、育成管理を支援する事業。</p> <p>JAが要望を取りまとめたところ、柿、シャインマスカットとも新植希望者が無かったが、継続して普及促進を図っていく。</p> <p>■意見交換会を計画 ぶどう生産者との意見交換会を開催し、生産振興に向けた問題と改善策を整理し、制度設計も含め町の支援の在り方を検討する。</p>	新品種(シャインマスカット)の新植面積の20a増			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	達成率	R2 評価		担当課
				効果検証		
4 鳥取梨等 生産振興 事業(農業 生産現場 強化事業) ②	<p>事業概要</p> <p>・鳥取梨生産振興事業(地方創生) 【事業内容】県が注力している新品種(新甘泉、秋甘泉、王秋)を中心に栽培に必要な資材(苗木、土壌改良剤等)・施設(果樹棚、かん水施設、園内道、SSなど)の整備を支援。 【補助率】新品種の植栽を伴う場合は2/3(県1/2+町1/6)、既存の品種が中心の場合は1/2(県1/3+町1/6) 【対象者】町内で梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合 ◆補助金 20,978千円 内訳:新甘泉等特別対策 16,374千円、梨生産拡大 2,430千円、低コスト・体制強化 2,174千円</p>	対象農業者に よる省力化防 除面積の 20%増				産業振興課
5 東郷梨地 域連携栽 培プロジ ェクト事 業	<p>梨特産地維持のための企業型梨生産プロジェクト。H27からの補助事業期間は終了したが、引き続き梨栽培を中心に、取り組む。後継者のいない梨園を借りて梨を栽培し、産地の維持に寄与するとともに規格外の梨を加工品用に出荷する等で6次産業化を目指す。</p> <p>○R2年度計画 梨生産 60a (うち 梨の木オナー15a 梨葉ビジネス 15a) 【事業者】東郷梨地域連携栽培プロジェクトチーム</p>	プロジェクトの 持続的展開				産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
6 二十世紀梨を守る事業	<p>【地方創生推進交付金】 県事業の対象とならないオリジナルの二十世紀梨の苗木やハウス二十世紀梨の資材(苗木など)、ハウスの機能強化・強度向上に対して支援を行う。</p> <p>【補助率】 1/2</p> <p>【対象者】 町内で二十世紀梨を栽培している農業者(認定農業者は個人で取組可)または農業協同組合</p> <p>◆補助金 1,265千円</p> <p>内訳: 苗木・栽培資材支援 25千円、ハウス更新・機能向上支援 1,000千円、果樹棚、かん水施設設置支援 240千円</p>	新植またはハウス梨の機能向上面積を50a以上の増とする			産業振興課
7 湯梨浜版担い手認定	<p>○湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業</p> <p>【対象者】①認定農業者、②準認定農業者、③認定新規就農者、④準認定新規就農者、⑤集落営農組織</p> <p>【支援内容、補助率等、対象者】</p> <p>○就農奨励金: 就農3年以内の対象者に定額30万円、④</p> <p>○新規就農者住宅家賃補助: 町外から転入する就農者に家賃上限2万円を補助、③・④</p> <p>○中古機械導入補助: 中古機械導入費の1/3(上限10～50万円)を補助、①・②・③・④・⑤</p> <p>○農業機械修理補助: 農業機械・施設の修繕費の一部を補助(5～30万円)、①・②・③・④・⑤</p>	新たな認定農業者数 2名			産業振興課
8 中核的担い手農家育成奨励金交付事業(農業生産現場強化事業)	<p>【事業内容】 認定農業者あるいは新規就農者が町内の農地を3年以上借り受けた場合、奨励金を交付する。本町の農地を守るため、27年度から町外の認定農業者が借り受けた場合も対象としている。</p> <p>町内者: 2,000円/10a × 年 町外者: 1,000円/10a × 年</p>	権利設定面積8ha			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価		担当課
		達成率	効果検証	
9 知的所有 権取得支 援	○知的所有権取得支援事業 知的財産権(登録商標、GIマーク、意匠権など)の申請・取得を希望する事業者に対して経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限25万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金250千円×1団体=250千円	新規取得:1 件		産業振興課
10 パッケージ デザイン作 成助成事 業	○パッケージデザイン作成助成事業 町内で製造された農産物の販売、または町内産の原料等を使用した加工品を製造販売する際に必要な、商品のパッケージデザインを新たにを行う事業者に対し、経費の一部を支援。 【補助率】1/2(ただし、上限8万円とする) 【対象者】生産者等(生産者団体、食品加工業者を含む)、農産加工グループ、農業法人、JA等 ◆補助金 80千円×1団体=80千円 (実施希望があれば補正予算により対応する。) ○東郷湖漁協漁業振興費補助金 【事業内容】漁協が実施する覆砂事業費を補助し、東郷池の水質浄化及びシジミの増殖を図る。 ◆補助金 250千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 233千円	新規作成:1 件		産業振興課
11 東郷湖漁 業振興事 業	◆補助金 250千円 ○内水面漁場環境保全事業補助金 【事業内容】東郷湖の浮遊ゴミ等の処理費を補助し、漁場環境を保全する。 ◆補助金 233千円	シジミ漁獲量 25t増		産業振興課
12 沿岸漁業 活性化推 進事業	町内の漁業者の漁業経営改善を図るために、燃料高騰対策として輸送量コスト支援並びに漁船用機器導入支援を行う。 ◆輸送コスト支援補助金 30,000箱×100円×1/3= 1,000千円 ◆レーダー・コンパス導入支援補助金 2名分 3,135,000円×1/6= 523千円	経営改善機 器導入支援 漁家数 2戸		産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価		担当課
		達成率	効果検証	
13 特産果物 生産振興 事業	<p>町の特産品である、ぶどう、イチゴ、メロン、スイカ、梅の生産を維持・拡大するため、県の補助事業にのらない品種について、生産者の要望に沿う支援を行なう。</p> <p>ブドウ連棟ハウス巻き上げ機設置 1/2補助 1,724千円 二十世紀梨苗木、栽培資材導入 2/3補助 52千円 果樹かん水施設設置 1/2補助 500千円 梨栽培ハウス更新・機能向上 1/2補助 1,000千円</p>	<p>設備導入支援 農家数 5戸</p>		産業振興課
14 森林環境 税関連事 業	<p>管理不足による森林環境の悪化が懸念される中、森林経営管理事業や放置竹林対策事業を支援する。</p> <p>◆森林経営管理事業 1,340千円 意向調査委託・管理権集積計画作成委託 ◆竹林対策事業 134千円 町放置竹林対策協議会 タケノコ掘り講習会、ウラ止め・間伐講習会 ◆森林整備基金積立金 4,826千円 令和元年度森林経営管理事業推進面積 18.22ha (意向調査回答面積 9.83ha)</p>	<p>森林経営管理 事業推進 面積 12ha</p>		産業振興課
15 ゆりはま農 作業体験ツ ア一事業	<p>就農希望者に本町での農作業体験ツアーを提供する。費用助成することで参加を促し、将来的な移住就農へとつなげる。</p> <p>◆交通費・宿泊費助成 110千円</p>	<p>参加者数 4人</p>		産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	達成率	R2		担当課
				評価	効果検証	
16 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進①	<p>【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化に向け、プロモーションDVDの多言語化を推進する。本年度はフィリピン、モルデアイブ、スリランカ(2言語)の3カ国、4言語版を追加。 ◆多言語DVD作成委託料 2,002千円</p>	<p>①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>				産業振興課
17 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進②	<p>グラウンド・ゴルフの国際化及び潮風の丘聖地化に向け、潮風の丘の施設等整備を行う。 ◆潮風の丘とまり多目的広場の芝生の改設 30,313千円</p>	<p>①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>				産業振興課
18 グラウンド・ゴルフ 国際化及び潮風の丘聖地化の推進③	<p>【地方創生推進交付金】 グラウンド・ゴルフの国際化のため、海外普及活動・WMG2021関西のPR・国際組織の運営協力や、用具海外販売を促進する。 ◆ルール普及2,386千円 ◆フィリピン、メキシコ、スペイン用具提供1,719千円 ◆未普及国を中心に用具を贈呈するとともに、湯梨浜まちづくり㈱による販売をPRする。 ◆国際組織運営協力492千円 ◆国際大会時に国際グラウンド・ゴルフ連盟と連携して、参加国代表者会議等を開催する。</p>	<p>①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>				みらい創造室

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	R2 評価		担当課
			達成率	効果検証	
19 ウォーキングリ ゾート構想の推進 及びインバウンド の促進①	<p>【地方創生推進交付金】 町の認定したウォーキングコースを生かし、国内外の交流人口増加と地域活性化を目指す。 湯梨浜町ウォーキングコースにおいて町の特産等でおもてなしを行う。 《ウォーキングリゾート推進事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆消耗品費 40千円 ◆通信運搬費 14千円 ◆筆耕翻訳料 180千円 ◆委託料 1,557千円 <p>(うち、済州オルレとの友情の道事業委託費 1,386千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆負担金 5千円 	<p>①海外からのイベント参加者数 240人 ②海外からのイベント新規参加国数 2カ国</p>			健康推進課
20 アロハカーニバル 事業【1:③商工 業の振興にも掲 載あり】	<p>本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシー・ツーリズム展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。</p> <p>○事業費内訳: オープンイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 365千円 イベントPR費用 720千円 事務費45千円 計1,430千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円</p>	<p>①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上</p>			産業振興課

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
21 天女のふる里づくり事業①	<p>①東郷湖・未来創造会議事業 「天女のふる里づくり」事業の一層の伸展に向け、地域おこし協力隊制度を活用して緑化・植花の取り組みを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域おこし協力隊員報酬 1,992千円 ◆社会保険料 336千円 ◆委員報償費等 86千円 ◆委員旅費 59千円 ◆消耗品 10千円 ◆通信運搬費 13千円 ◆交付金 1,664千円 <p>②花と緑のまちづくり支援事業補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆補助金 400千円 	①住民参加による緑化・植花の取組:2件			企画課
22 天女のふる里づくり事業②	<p>①-1 天女を活用したまちづくりの一環として関係自治体へのイベント参加交流を実施</p> <p>①-2 子どもたちへの羽衣天女伝説の認知向上を目的にパンフレットを配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆イベント参加旅費 100千円 ◆消耗品 78千円 ◆通信運搬費 10千円 ◆モニメント保険料 4千円 ◆高速道路使用料等 27千円 <p>②宇宙桜やハナミズキ、宙ユリなど花関連の情報を発信する。</p>	①イベント参加:2回 ②花関連情報の新聞、ニュース等での取り扱い:2回			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価		担当課	
		目標	達成率		効果検証
23 天女のふる里づくり事業③	<p>・宇宙桜植樹交流事業 宇宙を旅した桜の種から生育した苗木の植樹をH29に実施。宇宙の桜＝「天女桜」として育て、観光振興に活用していく。これをシンボルとして、緑化推進の機運醸成にもつなげる。(植樹3年目)</p> <p>◆旅費 194千円 ◆消耗品 53千円</p>	宇宙桜に関連した住民参加による取組:2回		効果検証	企画課
24 天女のふる里づくり事業④	<p>・天女のふる里東郷湖「花」基金積立金 天女を活用したまちづくりの推進策の一つである町内の緑化推進のため、東郷湖周への桜植樹などを行うこととしている。その財源に充てるため、ふるさと納税制度等を活用した寄付を募り、基金へ積み立てるもの。</p> <p>◆積立金 2,001千円</p>	寄付金額を200万円とする。			企画課
25 天女のふる里づくり事業⑤	<p>・町天女キャラクター活用推進事業 天女のまちイメージ創出に向け、天女キャラクター「ゆりりん」の活用を進める。</p> <p>◆旅費、メンテナンス、通信運搬費等 192千円</p>	<p>子ザイン活用40件 着ぐるみ活用40件</p>			産業振興課

事業名	事業概要	達成率	R2 評価		担当課
			目標	効果検証	
26 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)①	<p>・鳥取県中部観光推進機構【会費】 鳥取県中部地域及び岡山県蒜山地域の連携を深め、観光資源の共有及び周遊環境の整備等による広域観光地の魅力向上のための事業を展開するためH27に一般社団法人化したDMO組織への会費。 ◆会費 531千円</p>		<p>目標 推進交付金 中部エリア (R3.3) ①年間観光光入込 客数 100,000人 (R2増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(R2増 加分) ③年間外国人宿 泊客数 4,000人 (R2増加分)</p>		産業振興課
27 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進(広域連携)②	<p>【地方創生推進交付金】 中部地域及び岡山県蒜山地域の観光プラットフォーム機能を充実させて次の事業を実施する。 広域観光連携推進事業負担金 22,000千円 おもてなし、受入環境整備事業 温泉地イメーজ戦略事業 情報発信事業 プロモーション推進事業 誘客戦略事業 ◆湯梨浜町負担金 3,604千円</p>		<p>目標 推進交付金 中部エリア (R3.3) ①年間観光光入込 客数 100,000人 (R2増加分) ②年間宿泊客数 200,000人(R2増 加分) ③年間外国人宿 泊客数 4,000人 (R2増加分)</p>		産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
28 教育旅行のメニュー開発事業	<p>教育旅行商品の企画造成を行う。</p> <p>◆町観光協会補助金 10,200千円</p>	2年後の修学旅行等の予約:10件			産業振興課
29 ゆうゆうゆりはま事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>◆都市圏ブランド周知イベント</p> <p>◆イベント用コンテンツ制作</p> <p>-「ゆうゆうゆりはま」新聞広告</p> <p>-「ゆうゆう、ゆりはまマルシェ」イベント</p> <p>◆その他</p> <p>・HP保守管理、ゆりはまオリジナルコーヒー制作</p>	県外からのIUターン者数 185人			産業振興課
30 食と健康のまちづくり事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>タニタヘルスツーリズムの展開</p> <p>・飲食店とタイアップしたタニタ監修メニューの提供</p> <p>◆タニタヘルスツーリズム展開業務委託料 監修メニュークリエイティブ業務 165千円</p>	【目標】 監修メニュー提供数550			健康推進課

(単位:千円)

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
31 ゆりはまじ げ産業支援 事業	町内での創業、新事業進出や販路開拓に取り組む事業者に対して必要経費の一部を補助する。 ◆補助金 創業、新事業進出500千円×4事業者+販路開拓200千円×15事業者=5,000千円	制度活用事業者5件以上			産業振興課
32 チャレンジ ショップ支 援事業 【I:④雇 用の推進に も記載あり】	町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。 ◆補助金 新規分1件480千円	新規申請1件			産業振興課
33 〈再掲〉 アロハカ ニバル事業 【I:②観 光産業の 振興にも記 載あり】	本町にある羽合地域の「ハワイ」の知名度を活かした期間設定の取り組みとして、ハワイ風のアレンジした地元産食材を活用した料理メニュー開発・提供を行い、ヘルシーリズム展開業務等との連携により、本町への観光客の滞留性を高めるとともに飲食店の振興と地域の活性化を図る。 ○事業費内訳: オープンイベント 300千円 観光誘致費用(宿泊参加者プレゼント等) 505千円 イベントPR費用 650千円 事務費50千円 計1,505千円 ◆上記に対する補助金額 1,250千円	①新メニュー提供店舗数:15店舗以上 ②新メニュー提供数:2,000食以上			産業振興課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	R2		担当課
			達成率	評価	
34 ふるさと名物応援事業	<p>国の補助金を活用した4事業者が、ふるさと名物関連商品の販売とその販路開拓を進める。加えて、国の補助対象外および4事業者以外にも事業に取り組む事業者を町として支援し、ふるさと名物のさらなる普及に努める。</p> <p>◆補助金 150千円 × 1事業者 = 150千円</p>	新規申請1件以上		効果検証	産業振興課
35 環境創出プロジェクト事業	<p>町民から生ごみを回収し、これを活用し農業用の有機液体肥料や培養土として販売する。また、その他東郷支所などに液肥タンクを設置し、町民に無料配布する。これにより町民参画と食物を土に返すことによるイメージアップ、企業との連携によるエコブランドの販路を図り循環型社会を目指す。</p> <p>◆対象事業費3,677千円(委託料3,526千円:生ごみ収集運搬、報償金10千円:生ごみ回収協力区への報償、消耗品費141千円:生ごみ収集に係る事務経費)</p>	生ごみ回収協力区の拡大 R1末 10区 ⇒ R2末 11区以上			町民課

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
36 看護師、保育士奨学金助成事業 （ふるさと奨学金支援事業） 【Ⅲ：①移住定住の推進にも記載あり】	<p>ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。</p> <p>○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合</p> <p>○助成内容 無利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金：貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆45千円×2人＝90千円（助成中） ◆60千円×5人＝300千円（新規）</p>	申請者(新規) 5人			教育総務課
37 〈再掲〉 チャレンジシヨップ支援奨励金 【Ⅰ：③商工業の振興にも記載あり】	<p>町内の空き店舗や空き家などを借りて事業を行う場合にその賃借料を補助する。</p> <p>◆補助金 新規分1件480千円</p>	新規申請1件			産業振興課
38 雇用促進奨励金事業①	<p>・雇用促進奨励金 町内の事業所が①シニア世代(55歳以上)②子育て女性(18歳以下の子どもがいる女性)③就職氷河期世代(昭和49年度から昭和58年度生まれ)④新卒者(コロナ禍影響)一の町民を正規の常用労働者として6か月以上継続して雇用された場合に、事業所に奨励金1人あたり200千円を交付する。 ◆補助金 200千円×4名分＝800千円</p>	新規雇用者4人			産業振興課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
39 就職関連 情報提供 事業	県内就職を支援するため、県外の大学生などに就職関連情報を提供する。	情報提供1件 以上			産業振興課
40 企業誘致 用地等情 報提供事 業	町内の企業誘致可能な土地や空き工場の情報を集約し、町ホームページなどを活用して情報提供を行う。	情報提供1件 以上			産業振興課
41 ビジネス人 材移住支 援事業	東京圏から町内に移住した者が、鳥取県が実施するマッチングサイトに掲載された求人に就業し、3か月以上勤務している場合又は鳥取県が実施する企業支援金の交付決定を受けた場合に移住支援金を交付する。 世帯で移住した場合1,000千円、単身で移住した場合500千円 ◆補助金 1,000千円×1世帯＝1,000千円	1世帯(2人) 移住			企画課

事業名	事業概要	R2			担当課
		達成率	評価	効果検証	
42 家庭子育て支援事業	<p>低年齢児(満2歳未満児)の家庭子育ての支援 生後8週を超え満2歳に満たない乳幼児を、昼間家庭で子育てをとする父母又は祖父母に対し給付金を支給。 育児休業給付金(手当)を受けている期間を除く。 乳幼児1人につき1月30,000円。 ◆6,500千円/3カ月×4回=26,000千円</p>				子育て支援課
43 多子世帯保育料軽減事業	<p>令和2年度無償化、軽減 【国】年収360万円未満の世帯。同時入所問わず 第3子以降児無償、第2子半額 【県】年収360万円未満の世帯。第1子と同時入所の第2子、無償。年収360万円以上の世帯。 同時入所問わず第3子以降児無償 【町】年収360万円以上世帯。同時入所問わず 第2子軽減</p>				子育て支援課
44 第3子以降中学校卒業祝い金支給事業 (第3子以降出産・入学・卒業祝い金支給事業)	<p>多子世帯児童の健全育成、当該世帯への経済的負担の軽減のため、出産・入学祝い金・卒業祝い金を拡大し、進学や就職準備時である中学校卒業時に祝い金支給を行う。 (H28年度から卒業祝い金支給実施) ◆見込み 3,830千円 出産時 50,000円 × 31名 = 1,550千円 小学校入学時 30,000円 × 39名 = 1,170千円 中学校卒業時 30,000円 × 37名 = 1,110千円 通信運搬費 9千円</p>				子育て支援課

(単位:千円)

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
45 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備①	<p>・子育て世代包括支援センター事業 相談支援のワンストップ拠点となる子育て世代包括支援センターを設置し妊娠、出産から就学前までの切れ目の支援をめざす。</p> <p>・コネクターを配置し、必要な支援やサービスが受けられるよう情報提供、関係機関調整などを行う。</p> <p>・妊婦期、出産時から就園までの時期、就園時から就学までのそれぞれの時期に対象者全員への子育てプラン提供、支援の必要な方への子育て応援プランの提供等を行う。</p> <p>◆消耗品費、通信運搬費 71千円</p>	<p>目標</p> <p>○子育てプラン配布:妊産届者全 員、乳幼児健診受 診者:全員</p> <p>○子育て応援プラン作成:妊産届時 必要と判断した人 全員(45人程度)</p> <p>○町内関係機関 (要対協事務局・子 育て支援センター) との情報共有の 会:年6回 ○産科 医療機関との会:1 回</p>			子育て支援課
46 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備②	<p>・産前産後サポート事業 妊産婦が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、保健師による相談支援を行い、家庭や地域での孤立感の解消を図るため、主に自宅に訪問するなどし、個別に相談に対応する。</p> <p>パート保健師賃金 【アウトリーチ型】※新型コロナウイルスによる電話訪問も含む 保健師が自宅に訪問し、個別に相談に対応する。 【デイサービス型】※新型コロナウイルス対応で中止する場合あり。</p> <p>公共施設等で集団形式により、同じ悩み等を有する利用者からの相談に対応する。</p> <p>◆職員賃金等 2,663千円、消耗品費 10千円</p>	<p>アウトリーチ型:年 48件</p> <p>デイサービス型:年 12回</p>			子育て支援課

事業名	事業概要	R2			担当課
		達成率	評価	効果検証	
47 子育て世代 包括支援セ ンターの整 備③	<p>・産後ケア事業 強い育児不安や家族等から産後の支援が得られない母 子に対し、医療機関委託や助産師、保健師訪問、ヘル パー派遣等、宿泊、日中預かりなど様々な方法で、心身 のケアや育児サポートを行う。心身の負担軽減により産 後の未然防止も図る。</p> <p>【宿泊型】 母子を産科医療機関に宿泊させ、休養の機会 を提供するとともに、心身のケアや育児サポートなどきめ 細かい支援を行う。</p> <p>【デイサービス型】 日中所した者に対し、個別又は集 団で心身のケアや育児サポート等の支援を行う。</p> <p>・母子来所 ・乳児一時預かり</p> <p>【訪問型】 産婦の状態を把握し、必用と思われる家庭に 助産師を派遣し、産婦の母体ケア及び乳児のケアを行 う。</p> <p>【産前産後ヘルパー派遣事業】主に出産後間もない時期 に、家事支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行う。</p> <p>◆助産師報酬費 23千円、委託料 204千円(ヘルパー派 遣・ショートステイ・デイサービス等)</p>	<p>目標</p> <p>訪問型:5件 宿泊型:2件 デイサービス型:1 1件 ヘルパー派遣事業 7回</p>			子育て支援課
48 不妊治療費 助成事業	<p>県の助成決定を受けた不妊治療を行う夫婦に対し、治療 の種類ごと、回数ごと、年度ごとに定める額を助成する。</p> <p>【治療の種類】</p> <p>◆特定不妊治療費 見込み24件 2,300千円 ◆人工授精費 見込み4件 24千円 ◆不育症治療費 見込み1件 50千円</p>	<p>利用件数</p> <p>特定不妊治療24 件、人工授精4件、 不育症治療1件</p>			子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
49 ファミリーサポートセンター事業の充実	子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(提供会員)が育児の相互援助活動を行う。調整役としてアドバイザー1人配置に係る賃金。 事業PR、会員の確保。 預かり体験。 ◆職員賃金等 1,960千円 ◆講師謝金、消耗品、郵券料 24千円 ◆活動保険料 83千円	実利用者数の増。年間実利用者数を前年の1.5倍とする。(6人×1.5=9人)			子育て支援課
50 病児・病後児・夜間保育事業	◆病児保育:127人(R1実績)(定住自立圏構想での取組。事業受託者ババール園。実施場所県立厚生病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 983千円 ◆病後児保育:19人(R1実績)(定住自立圏構想での取組。事業受託者十字会。実施場所野島病院) 対象者:在園児及び小学校3年生以下 425千円 (上記は引き続き定住自立圏 で取り組む)	利用者数 病児保育 127件 病後児保育 19件			子育て支援課
51 SNS等による子育て支援情報の提供	妊娠出産子育て期全般にわたる必要な情報をリアルタイムに提供していく方法としてフェイスブック等を立ち上げる。 子育て支援アプリを導入し、妊娠期から子育て期における子育て情報提供をタイムリーに行える体制整備を行う。関係機関との連携会議を定期的に行い、情報連携を強化していく。 委託料 396千円	子育てアプリ等による情報発信。年間母子手帳交付数に対し、子育てアプリ登録者数を95%以上とする。			子育て支援課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			担当課
		達成率	評価	効果検証	
52 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進①	<p>放課後児童クラブ5カ所で運営。 放課後子ども総合プランに基づき、3小学校においては、放課後子ども教室と一体的に実施する。コミュニティ施設で実施する児童クラブについても、教育委員会と連携を取りながらゆりはま自主学習の広場事業と連携実施する。</p> <p>◆羽合第1:8,204千円、羽合第2:14,094千円、東郷第1:8,072千円、東郷第2:8,355千円、泊:8,002千円</p>	<p>利用希望に応じた利用となるよう、登録者数に対する利用者数の割合を、3月利用について100%とする。</p>		効果検証	子育て支援課
53 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進② ゆりはま自主 学習の広 場事業(放課 後子ども教 室)	<p>町内3小学校の空き教室を使用し、年間30回程度の学習支援活動を行う。週1回は放課後(月3回予定)と夏季休業中に開催し、小学校低学年からの学習習慣の定着を目指す。指導については、教員OBを含めた地域人材を活用する。</p> <p>◆報償費 977千円、消耗品 44千円 保険料 88千円、通信運搬費 12千円</p>	<p>連絡協議会を開催し、各小学校等で子ども教室を実施し、学習習慣の定着を図る。 児童数50名とす</p>			教育総務課
54 放課後児童 クラブ・放課 後子ども教 室の推進③	<p>放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保し、地域の方々の協力を得て、子どもたちに学習や様々な体験、交流活動等の取り組みを実施し、子どもたちが地域との交流を深め、心豊かで健康やかに育まれる環境づくりを推進する。</p> <p>R1年度は、橋津地区に新たに1教室を開設し、羽合地域(長瀬、東田後、橋津)、東郷地域(舎人、大介)の、計5教室で事業を実施した。R2年度も引き続き5教室で事業を実施予定。</p> <p>◆報償費(5教室分) 2,773千円、消耗品費 120千円</p>	<p>放課後や週末などにおける子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保する。 年間参加延児童数2,600名以上とする。</p>			生涯学習・人権推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		達成率	効果検証		
55 ゆりはま自主学習の広場事業 (ゆりはま地域未来塾)	<p>在住の地域人材や学生ボランティア等の協力を得て、平日の放課後や土曜日の部活動終了後に、希望する中学1年生を対象に実施。基礎学力の定着と学習習慣の定着を目指すものであり、オール湯梨浜体制での町の将来を担う中学生に対し自主的な学習の機会を提供する。</p> <p>※国事業：『学校・家庭・地域の連携協力推進事業』を活用(補助率：国、県、市町各1/3)</p> <p>◆報奨金 289千円、消耗品 22千円、郵券料 7千円 保険料 48千円</p>	<p>運営委員会を開催し、中学校1年生を対象に地域未来塾を実施し、基礎学力と学習習慣の定着を図る。</p> <p>対象生徒数の約20%の参加を目標とする。</p>			教育総務課
56 学校支援ボランティア事業の推進	<p>各小中学校が作成した学校支援ボランティア人材バンクに登録された学校支援ボランティア登録者へのボランティア保険加入手続きを行う。また、自校だけでは要請することが難しいボランティア内容に対し、他校人材バンクへの登録者情報を必要に応じて情報提供し、実施困難と思われるボランティア内容の実施応援体制を支援する。</p> <p>◆ボランティア保険料 88千円</p>	<p>各学校のニーズに沿った地域による学校支援を実施する。</p> <p>小中学校で150名登録。</p>			教育総務課
57 ふるさと教育の推進	<p>総合的な学習の時間で行われている地域学習の取り組みを拡充する。各小・中学校独自の取り組みにおける地域人材の活用や消耗品等の支援を行う。</p> <p>【羽合小学校】体験学習(町探検、文化伝承、平和学習ほか)交流学習(高齢者、赤ちゃんほか)132千円</p> <p>【泊小学校】体験活動(水産教室、泊貝がら節伝承、ワカメ栽培、GG体験ほか)食育 102千円</p> <p>【東郷小学校】体験学習(梨づくり、東郷池体験活動、GG体験ほか)、環境教育(サケ飼育)98千円</p> <p>【湯梨浜中学校】湯梨浜調べ、職場体験、観光地PR動画制作ほか 90千円</p>	<p>各学校でふるさと愛着を持つ児童生徒の育成をめざし、各種事業等実施する。</p> <p>アンケート目標 85%以上。</p>			教育総務課

事業名	事業概要	R2			担当課
		達成率	評価	効果検証	
58 小学校社会 科副読本作 成事業	町に誇りと愛着を持ち、大人になっても湯梨浜町に住みたいという気運を子供の時から形成していくため、さらに社会科の学習時に同時に町を勉強するため、小学3・4年生を対象に社会科の副読本を作成しふるさと教育の推進を図る。 改善点を確認するため編集委員会を開催(小学校社会科教諭等)1回開催。 ◆報償金2,400円×3名×2回=15千円 ◆印刷費 324千円	編集委員会を開催し、今年度活用し、改善点を来年度の副読本発行の際に修正する。			教育総務課
59 ワーク・ライ フ・バランス セミナー事業	生活と仕事を両立できる職場環境づくりについて理解を深め、子育て等しやすい環境づくりを推進するため、町内中小企業、一般勤労者等を対象にワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。 ◆需用費 10千円 ◆委託料 200千円 ◆男女共同参画環境づくり奨励事業補助金 170千円	鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数:17社(前年比1社増)			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2		効果検証	担当課
		目標	達成率		
60 地域で取り 組む介護予 防活動推 進事業	<p>【地方創生推進交付金】</p> <p>①養成した100名の介護予防・健康づくりリーダー(ゆりりんメイト)に地域で活躍してもらったため、継続した働きかけや支援を行う。また、ゆりりんメイトを含む地域住民が担い手となり、新たに健康づくり・介護予防・フレイル予防等を目的とした地域サロン活動に取り組む地域・団体等を増やすため、短期集中サロンの実施や地域サロン活動に対する助成を行う。</p> <p>②認知症診断プログラムやフレイル評価・管理システムを導入して、高齢者等の状態を判定し、町が実施する運動教室や介護予防教室、新たに取り組む脳活トレーニング事業や地域サロン等を体系化して個々の状態に合わせたプログラムを提供するとともに、プログラム実施前後の個々の状態を管理・評価して段階に応じた適切なプログラムにつなげていく。</p> <p>◆脱フレイル大作戦 3,079千円 キックオフ講演会等謝金 34千円 消耗品 20千円、通信料・郵券料 80千円 プログラム導入委託料、保守料 1,161千円 システム使用料 1,430千円 備品購入費 354千円</p> <p>◆脳活トレーニング事業 1,369千円 消耗品費 20千円、郵券料 5千円 事業委託料 1,344千円</p>				長寿福祉課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
61 歯・口の健康づくり推進事業	<p>事業概要</p> <p>今年度からフッ化物洗口事業が教育総務課に移行。 健康推進課としての関わりとしては、 ①小中学校でのフッ化物洗口の実施のアンケート結果集計。 ②「小学校におけるフッ化物洗口手引き」「中学校におけるフッ化物洗口手引き」の見直し。 ③説明会の要望があれば、出向く。</p>	-			健康推進課
62 健康相談・健康教室等の実施①	<p>温泉を活用したウォーキング教室の実施(龍鳳閣)</p> <p>年間計画に沿って実施(週2回、年83回) ◆講師謝金 415千円</p>	【目標】 教室参加人数を1,000人以上			健康推進課
63 健康相談・健康教室等の実施②	<p>【地方創生推進交付金】 《つみたて貯筋運動教室他》 町内の体育施設を利用して、健康体操を中心に開催し、運動の習慣化や健康づくり、介護予防として取り組む。 ◆講師謝金 144千円 ◆消耗品 41千円 ◆通信運搬費 2千円 ◆委託費 704千円</p>	【目標】 各運動教室参加者 15名/回			健康推進課

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
64 健康相談・健康教室等の実施③	<p>【地方創生推進交付金】 居住地区周辺でのウォーキング教室開催により、ウォーキングの習慣化を図り、町民の健康につなげる。 ◆委託費 123千円</p>	<p>【目標】 運動効果の周知により、ノールディックウォーク教室の参加者を前年比110%とする。</p>			健康推進課
65 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携	<p>【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を図りながら、地区単位で取り組む健康づくりを推進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図る。 ◆消耗品費 5千円 (地区での健康教室教材費) ◆委託料 35千円 (まちの保健室鳥取看護大学委託料)</p>	<p>【目標】 原地区(3年目)で1回/年、まちの保健室の開催</p>			健康推進課
66 SIBを活用した飛び地型自治体連携事業(食と健康のまちづくり事業)	<p>【地方創生推進交付金】 タニタ健康プログラムの推進 ・タニタ健康システムの運用 ・タニタ健康プログラムの推進 《SIBを活用した飛び地型自治体連携事業》 ◆普通旅費 254千円 ◆消耗品費 770千円(ポイント景品) ◆通信運搬費 206千円 ◆委託料 16,091千円 ◆使用料及び賃借料 3,927千円 (活動量計ID、サイト等 使用料)</p>	<p>【目標】 運動管理システム(活動量計等)を利用した「ゆりはまヘルシーくらぶ」の会員を350名とする(R2)。 ※最終1,400名とする</p>			健康推進課

事業名	事業概要	R2		担当課	
		達成率	評価		
67 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ①	<p>【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業（地方創生推進） 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨 浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯 梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務（情報発信）5,057千 円（旅費380千円、役員費1,707千円、委託料 2,970千円） 令和2年度は、レークサイド・ヴィレッジゆりはま 開発事業を含む町のPRを行う。</p>	<p>目標 〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者：185 人（R2）、925 人（R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R2）、35団体 （R6）</p>		効果検証	みらい創造室
68 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」の 推進①	<p>【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍ポータル「カラフル」出展（地方創生 推進） 生涯活躍のまちに取組む全国5自治体（北海道 東川町、福島県伊達市、山梨県都留市、湯梨浜 町、南部町）が連携して東京に相談窓口を設置 して、移住定住へ向けた相談受け付けや、イベ ントを開催して生涯活躍のまちの情報発信を实 施する。</p>	<p>目標 〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者：185 人（R2）、925 人（R6） ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数：1団体 （R2）、35団体 （R6）</p>			みらい創造室

事業名	事業概要	目標	達成率	R2 評価		担当課
				効果検証		
69 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ②【Ⅲ:①移 住定住の 推進にも記 載あり】	<p>・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち)地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわたるまちづくりに関連する事業の運営などの中核を担い、活動するもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 11,976千円</p>	<p>〈推進交付金〉 ①県外からの移住者:185人(R2)、925人(R6) ②CCRC事業に参画する民間事業者・団体数:1団体(R2)、35団体(R6)</p>				みらい創造室
70 〈再掲〉全 世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ④【Ⅲ:①移 住定住の 推進にも記 載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を図りながら、地区単位で取り組む健康づくりを推進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図る。 ◆消耗品費 5千円 (地区での健康教室教材費) ◆委託料 35千円 (まちの保健室鳥取看護大学委託料)</p>	<p>【目標】 原地区(3年 目)で1回/年、 まちの保健室 の開催</p>				健康推進課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	R2		効果検証	担当課
			達成率	評価		
71 縁結び支縁員事業	<p>晩婚化や少子化が進む中、結婚を望む男女の出会いを創出する「縁結び支縁員」の活動を支援することで人口増加や次世代を担う住民の定住を促進する。</p> <p>◆縁結び支縁員 情報交換会、研修会 出席報償金、旅費 123千円</p> <p>◆婚姻成立時報償金 30千円</p>	<p>縁結び支縁員事業等により婚姻した件数：年1件</p>				企画課
72 婚活イベント事業(広域連携)	<p>中部地区市町と連携し、婚活イベントを開催することにより、結婚を希望する人の出会いの機会を広域的に拡大するなど、少子化傾向の改善に取り組む。</p> <p>※中部定住自立圏事業で実施する。</p> <p>・広域連合負担金 200千円</p>	<p>令和2年度に広域連携による婚活イベントを実施。</p> <p>パーティ型イベント：2回 婚活セミナー：2回</p>				企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			効果検証	担当課
		目標	達成率	評価		
73 IJUターン 促進事業	地域の将来を支える人材の呼び込みを図るため、都市圏での移住定住相談会に参加し、本町の魅力を積極的に発信する。また、移住コーディネーターを設置し移住相談窓口として各種支援制度の紹介や空き家、住宅情報の提供などを実施し、移住促進を図る。 《R2予算額》4,133千円(旅費350千円、需用費241千円、役務費42千円、委託料3,500千円)	移住について具体的な相談に入っている者数:5人				みらい創造室
74 空き家情報 バンク活用 促進事業	①空き家情報バンクの運用により空き家所有者と利用希望者のマッチング、紹介を行う。 ②空き家情報バンク登録物件に県内からの町外者が転入する場合に、空き家所有者が行う改修等の費用を補助する。 上限:250千円 補助率1/2 予算:250,000円×1件=250,000円 《R2予算額》補助金 250千円	①町外(県内)利用者からの空き家バンク物件成約数:1件 ②町空き家改修補助金利用:1件				企画課
75 空き家対策 事業	空き家改修事業補助金 県外からの移住定住希望者に空き家を提供する人に対し、空き家の改修費を最大500千円補助する。 《R2予算額》補助金 500千円×2件	移住希望者へ空き家提供:2件				企画課
76 移住定住 者住宅支 援事業①	県外の人又は県外から町に転入して6か月を経過していない人が住宅の新築、購入又は改修をする場合に補助する。 《R2予算額》4,500千円 移住定住(土地開発公社)2,000千円×1件 移住定住2名以上1,000千円×2件 移住定住1名500千円×1件	県外からの転入者の定住:4件				企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
77 移住定住者住宅支援事業②	<p>事業概要</p> <p>・ゆりはま定住モデルハウス事業 土地開発公社分譲地を購入した上でモデルハウスを建築し、1年以上運営する事業者(ハウスメーカー等)に対して、補助金を交付することで、本町への移住定住と分譲販売の促進を図る。 (R2は計画認定のみ。債務負担行為設定済) ◆報償費 5千円 ◆通信運搬費 2千円</p>	モデルハウス補助金計画認定1件			企画課
78 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業	<p>町内で移住定住希望者にボランティアで作業を行ってもらったことで、地域間交流と地域の人手不足の解消を図る。 ボランティア受入者に報償費を支払い、ボランティア従事者には宿泊費を負担する。 ◆ボランティア受入報償金 100千円 ◆ボランティア受入委託料(宿泊)60泊 330千円 ◆宿泊費補助 26千円 ◆通信運搬費 6千円</p>	ボランティア従事者:20名			企画課
79 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業	<p>どちらかが35歳以下の夫婦、中学生以下の子どもが2名以上いる世帯主への住宅新築・購入費に対して補助金を交付。 新築・購入 500千円×46件=23,000千円 新築・購入(中山間地域かさ上げ分)100千円×8件=800千円 新築・購入(土地開発公社)1件 1,000千円 新築・購入(レークサイドビレッジ)600千円×5件=3,000千円</p>	若者夫婦・子育て世代夫婦の定住:51件			企画課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	達成率	R2 評価		担当課
					効果検証	
80 三世代同居世帯等支援事業	三世代家族の形成と子育ての支援を促進し、家族の絆の再生と定住促進を図る。 親と子と孫が新たに三世代で同居するための住宅の取得や増改築・リフォーム等の費用に對して助成を行う。 500千円×3件 1,500千円	新たな三世代家族の定住: 3件				企画課
81 移住者運転免許証取得支援事業	■県外からの移住者が自動車運転免許証を取得した場合、取得費用の一部を助成する。 150千円×3人 450千円 ■県外からの移住者がペーパードライバー講習を受講した場合、受講料の一部を助成する。 5千円×3人 150千円	◆県外からの移住者の免許取得:3人 ◆県外からの移住者のペーパードライバー講習受講者:3人				企画課
82 住宅取得仲介報酬助成事業	中古住宅及び新築住宅用土地(いずれも集合住宅を除く。)を購入しようとする者に対し、支払った仲介報酬を一部助成し、町内定住促進により町の活性化を図る。 130千円×7件 1,300千円	中古住宅及び新築住宅用土地購入による、町内への定住:7件				企画課

事業名	事業概要	R2		担当課
		目標	達成率	
83 お試し住宅 運営事業	古民家を活用したお試し住宅と、街なかに新設したお試し住宅を設置して、移住定住を検討している方に本町の暮らしを体験してもらおうと地域に、空き家の有効活用、移住定住検討者と地域住民の交流による地域活性化及び定住促進を図る。 お試し住宅指定管理をまちづくり会社として運営する。	お試し住宅利 用件数:42件		みらい創造室
84 (再掲) ふるさと奨 学資金(名 与事業(名 称変更:ふ るさと人材 育成奨学 金支援助 成金事業) 【I:④雇 用の推進に も記載あ り】	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金の認定を受け、町内に定住する人を対象に奨学金返還額の一部を助成する。 ○対象になる業種など 製造業、情報通信業、薬剤師の領域、建設業・建設コンサルタント業、旅館・ホテル業、保育士、幼稚園教諭、農業、林業、漁業、農林水産業協同組合 ○助成内容 無利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/6、有利子の奨学金:貸与を受けた奨学金の返還総額の1/8、助成期間は、原則として県内の対象業種に就職してから8年間。 ◆45千円×2人=90千円(助成中) ◆60千円×5人=300千円(新規)	申請者(新規) 5人		教育総務課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
85 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ①【Ⅱ：②地 域福祉の 推進にも記 載あり】	【地方創生推進交付金】 ・生涯活躍のまち推進事業(地方創生推進) 28年度に策定した生涯活躍のまち基本計画に 基づき、都市部をはじめとする移住者や地域の 方々が、充実した生活と安心して暮らせる【湯梨 浜町版生涯活躍のまち】の実現に向けて、「湯 梨浜まちづくり株式会社」等、官民が連携し一体 となり推進していく。 ◆生涯活躍のまちPR業務(情報発信)5,057千 円(旅費380千円、役員費1,707千円、委託料 2,970千円) 令和2年度は、レークサイド・ヴレイジージュりはま 開発事業を含む町のPRを行う。	〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者:185 人(R2)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R2)、35団体 (R6)			みらい創造室
86 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ②【Ⅱ：②地 域福祉の 推進にも記 載あり】	・地域おこし協力隊事業(生涯活躍のまち) 地域おこし協力隊3名を任命し、「湯梨浜町版生 涯活躍のまち」実現へ向けて設立された「湯梨 浜まちづくり株式会社」が取り組む多岐にわた るまちづくりに関連する事業などを担い、活動す るもの。 【地域おこし協力隊】 ・まちづくり会社で活動(3名) 11,976千円	〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者:185 人(R2)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R2)、35団体 (R6)			みらい創造室

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2			担当課
		目標	達成率	評価	
87 〈再掲〉 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ④ 【Ⅱ:②地 域福祉の 推進にも記 載あり】	<p>【地方創生推進交付金】 専門的知識や技術を有する看護大学と連携を 図りながら、地区単位で取り組む健康づくりを推 進し、町民の健康増進・健康寿命の延伸を図 る。 ◆消耗品費 5千円 (地区での健康教室教材費) ◆委託料 35千円 (まちの保健室鳥取看護大学委託料)</p>	【目標】 原地区(3年 目)で1回/年、 まちの保健室 の開催			健康推進課
88 全世代・全 員活躍型 「生涯活躍 のまち」事 業の推進 ⑥	<p>生涯活躍のまちに活かされる多世代交流拠点 としての町営住宅建替えについて、発注形式の 検討 ・発注形式 等 ・用地取得 ●町営住宅建設事業(PFI)に係るPFIアドバイ ザリー業務(21,300千円) ●ゆりはまレークサイドグレイτζ用地取得費 (75,331千円)</p>	<p>〈推進交付 金〉 ①県外からの 移住者:185 人(R2)、925 人(R6) ②CCRC事業 に参画する民 間事業者・団 体数:1団体 (R2)、35団体 (R6)</p>			町民課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
89 地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の活用が有効と思われる分野について、関係課の予算措置に基づき、隊員募集を企画課で行う。	協力隊の任用1名 (産業振興課分)			企画課
90 地域のにぎわいを創出する事業への支援① コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業 (財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。 ◆通信運搬費 21千円 (交付決定後、補正予算で対応) ◆補助金2件 14,100千円 ①方地公民館 1,600千円 ②白石区自治会 12,500千円 ※6月補正予算計上	(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し、町内各集落、団体のコミュニティ活動に必要な施設又は設備の整備を行う。			企画課
91 地域のにぎわいを創出する事業への支援② まちづくり創造事業・ステップ事業	まちづくり創造事業・ステップ事業 自主的・継続的にまちづくりを推進する団体への助成を行う。対象事業は、原則新規事業で、事業成果が持続性(原則3年以上)及び活性化が図られるソフト事業。 ◆交付補助金 700千円 1件200千円×3団体(創造事業) 1件100千円×1団体(ステップ事業) ◆役務費 2千円 ※県費:市町村交付金(1/2)	まちづくりを創造する団体の育成 創造事業 1団体			企画課

(単位:千円)

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		達成率	効果検証		
92 地域のにぎわいを創出する事業への支援③ 集落づくり総合交付金事業	事業概要 集落づくり総合交付金事業 町内各集落の運営費や防災活動、その他福祉活動等自主的な集落づくり活動などに対して交付金を助成する。 ・集落運営交付金 ・自主防災組織運営交付金 ・防犯灯維持管理交付金 ・防犯灯設置等交付金 ・集落活性化交付金 ◆補助金 計 37,123千円 ◆通信運搬費 63千円	達成率	効果検証	企画課	
93 地域のにぎわいを創出する事業への支援④ 地域にぎわい創出事業	町内に旧地区公民館単位を基準とした地域を設定し、その地域が実施する「運動会」、「祭り」などの経費を補助する。 12地域(羽合:7地域、東郷:4地域、泊:1地域) 【補助率・補助金限度額】 補助率:10/10 限度額:地域均等分90,000円+地域の人口×150円 ◆補助金 3,610千円 ◆役務費 6千円			企画課	
94 地域のにぎわいを創出する事業への支援⑤ ボランティア団体育成支援事業	ボランティア団体育成を図り、住民参加型の地域活動を促進し、協働のまちづくりを推進する。 ◆補助金 16団体 513千円 ◆消耗品費 5千円 ◆通信運搬費 5千円			企画課	

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	目標	達成率	R2 評価		担当課
				効果検証		
95 防災対策特別強化事業	湯梨浜町内各集落の防災意識高揚のための人的支援。15件以上の各種団体・集落における研修を実施する。また、自主防災組織を1地区以上設立する。 ◆報酬 2,106千円 ◆期末手当 297千円 ◆社会保険料 435千円 ◆旅費 10千円 ◆費用弁償 120千円 ◆消耗品 100千円 ◆通信運搬費 10千円	15件以上の各種団体・集落における研修を実施。また自主防災組織を1地区以上設立する。				総務課
96 小地域拠点集会所等バリアフリー事業	高齢化した地域住民等が安心して地域交流できるために拠点である地域集会所等のバリアフリー改修に対し助成を行う。上限1,000千円。2/3助成。 ◆補助金 2,000千円 より多くの地区にバリアフリー改修を実施していただくため、各区長に事業内容等についてお知らせし、改修の必要性を検討いただき、実施を呼びかける。	バリアフリー改修5地区				総合福祉課
97 買い物難民対策事業	高齢者支援のための地域支え合いの手引きの情報を更新し、買い物等不便者の解消を図る。 町社会福祉協議会が実施している「のりあいバス運行事業(週1回運行)」の経費助成を行い、高齢者等の移動手段の確保を図るとともに、より活用しやすいのりあいバス運行事業について検討を進める。 また、高齢者等の移動手段の拡充について検討を進めたい地域や地域貢献活動を行う民間事業者との協議を進め、のりあいバス事業以外の移動手段について協議を進める。 ◆補助金 319,000円(当初予算)	社会資源の把握、啓発を行い、適切な支援につなげる。 また「のりあいバス事業」の利用者を45人以上とし、運行に係る経費の助成を行う。				長寿福祉課

事業名	事業概要	目標	達成率	R2 評価		担当課
				効果検証		
98 小さな拠点事業の推進	<p>【地方創生推進交付金】 泊地域において、住む人・場所、買い物、地域コミュニティ、行政などの各機能と各集落をつなげ、地域の再生を目指す取り組みを行う。 地域住民が主体となった運営団体設立の協議をしながら買い物機能拠点の運営方法の検討、基本設計を実施する。 ◆協議会運営 81千円 ◆基本設計委託 1,590千円</p>	<p>小さな拠点運営団体の設立</p>				みらい創造室
99 ICT推進事業 ①	<p>行政イントラシステムを活用を勧奨し、県内自治体間における業務効率化を促進する。 ◆負担金 56千円</p>	<p>県等によるスペース(ワーキンググループ)の立ち上げ件数: 30件</p>				企画課
100 ICT推進事業 ②	<p>鳥取県と県内市町村(一部除く)が、共同で運用している電子申請システムの利用促進と、情報通信技術に関する業務対応が可能な職員育成に努める。</p>	<p>5部署以上の職員の研修参加・電子申請取扱い手続5以上の追加</p>				総務課

第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと・創生総合戦略

事業名	事業概要	R2 評価			担当課
		目標	達成率	効果検証	
101 東京大学 フィードバック ダイ型政策協 働プログラム	東京大学の学生が自治体の社会的課題解決のため、 ①事前調査②地域に滞在して現状を体験・把握③課 題解決提案に向けた調査④地域及び大学で提案を行 う。学生を受け入れることで、湯梨浜町の関係人口の 創出を図る。 →新型コロナウイルス感染症対策のため今年度事業 中止				みらい創造室
102 ふるさと納税 推進事業	ふるさと納税の寄附受け入れ、町特産品(返礼品)送 付、定期的な情報提供・町のPRを通じて、寄附リビ ターと関係人口の増加を図る。	メルマガ等によ る情報提供 24回以上 寄附者数 毎年 10,000人以上 (R1 16,740人 H30 8,606人 H29 7,059人)			総務課
103 企業版ふるさ と納税推進事 業	都市部などの企業に総合戦略に係る事業をPRし、事 業に対して寄附を募る。本町の取り組みに関心を持っ ていただくことにより、将来的に人材の交流などに結 びつけるなど、企業との連携の深化を図る。	募集受付を開始 する事業を1事 業以上とする。			みらい創造室

第2期

湯梨浜町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

鳥取県湯梨浜町

令和2年3月

(令和2年6月改訂)

目次

1	基本的な考え方	1
(1)	趣旨	1
(2)	総合戦略の位置づけ	1
(3)	計画の前提となる社会背景	1
(4)	計画期間	2
(5)	目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）	2
2	目指すべき基本方針	3
(1)	人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける	3
(2)	当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する	3
	【3つの基本目標】	3
3	重点戦略	4
	基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち	4
①	農林水産業の振興	4
②	観光産業の振興	5
③	商工業の振興	6
④	雇用の促進	6
	基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち	7
①	子育て環境の推進	7
②	地域福祉の推進	8
③	結婚の出会いの場づくりと情報提供	9
	基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち	10
①	移住定住の推進	10
②	まちのにぎわい創出や拠点の形成	11

1 基本的な考え方

(1) 趣旨

この第2期湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、「湯梨浜町人口ビジョン」に掲げた、本町の未来に向けた3つの基本目標「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」を実現するためのまち・ひと・しごとに関する総合的な施策を展開し、喫緊の課題である人口減少を克服し、将来の持続的発展可能なまちづくりを進めようとするものです。

平成27年10月に策定した「湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が令和元年度で終了するにあたり、これまでに湯梨浜町が取り組んできた地方創生施策を検証し、前戦略の取組を継続しつつ、新たな時代に沿った取組を追加し、今後5年間の施策の方向性を示す次期総合戦略を策定します。

(2) 総合戦略の位置づけ

総合戦略は、本町の目指す地方創生を実現するため、町民のみなさんと意識を共有化し、今後目指すべき将来の方向と具体的施策を進めるための指針となるものです。

総合戦略の策定にあたっては、地元で活躍する産学金労言、まちづくり団体、各種団体、主役である町民のみなさんと共に取り組みます。

平成27年に策定した湯梨浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗は、全体として概ね順調であり、5年間で「達成済、事業完了」、「計画以上に進んでいる」及び「計画どおりに進んでいる」事業は、全体の64.9%（94項目中61項目）を占めました。今後は、観光客の誘致、町民への仕事の充実、子育てしやすい環境づくりのほか、Society5.0（※1）実現に向けた取り組みやSDGs（※2）を達成するための取り組みをはじめとした、世界の新たな動きに対応していく必要があります。

また、湯梨浜町総合計画等の各種計画との整合性を保ちながら、社会情勢や町民のニーズに的確かつ柔軟に対応し、必要に応じた見直しを行います。

(3) 計画の前提となる社会背景

本町の人口は、1970（昭和45）年以降17,000人台の人口で推移し、安定した人口形態でした。近年では1995（平成7）年以降微増した人口も2005（平成17）年をピークに減少傾向にあります。

この傾向は、本町のみでなく、国全体が「人口減少時代」に突入している中で、人口減少がこのまま続けば、将来的には経済規模や生活サービスの更なる縮小・低下を招きかねません。早急に人口減少に歯止めをかけるとともに、当面避けられない人口減少に的確に対応していくことが必要です。

本町は、上質で豊富な湯量の温泉、全国一の産地である二十世紀梨をはじめとする優れた農産物、日本海の海の幸などの産業のほか、美しい自然環境に恵まれています。それらに関する産業は後継者不足等の様々な課題を抱えています。そのため、町の持つ優れた地域資源や特徴を活かしながら、町の歴史や文化資源との共生、再生と創造を図ることが重要です。また、核家族化等の社会構造の変化や地域社会の復権などにより、子育てしやすい環境づくりや住みやすいまちづくりを進めなければなりません。

これらを総合的に推進することにより、全世代の町民が活躍し、足腰が強く、魅力にあふれるまちをつくり、将来の発展を目指すものです。

(4) 計画期間

総合戦略の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

(5) 目標管理及び見直し（PDCAサイクルの確立）

総合戦略は、町民、地域、団体、企業、行政など全体で共有し、協働して推進する「公共計画」であるため、計画策定（Plan）、実施（Do）、点検・評価（Check）、改善（Action）の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し高い実効性を確保します。

また、重点戦略及び施策に設ける数値目標並びに重要業績評価指標（KPI）については、実施した事業の量を測定するものでなく、その結果によって得られた成果を測定する成果指標を原則とし、目標を明確化することで、町全体での目標の共有化と成果を重視した取り組みを展開します。さらに、点検と評価により、目標の管理を行い、その結果を広く公表するとともに、必要に応じて計画の見直しを行います。

※1

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会を指すもので、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

※2

Sustainable Development Goals の略であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年を期限とする、先進国を含む国際社会全体の17の開発目標です。また、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」（平成28年12月22日第2回持続可能な開発目標（SDGs）推進本部決定）において、政府全体及び関係府省庁における各種計画や戦略、方針の策定や改訂に当たっては、SDGsを主流化することとされており、実施のための主要原則の1つに「包摂性」が示されています。なお、17の開発目標については、次のとおりです。



2 目指すべき基本方針

自然減が特に進んできた本町にあって、近年では社会増も見られるようになってきましたが、依然として社会減の傾向が続いています。この両方が進む人口減少問題は、地域経済や地域住民の生活にも大きな影響を与える極めて重要な問題です。

その問題を克服するためには、

(1) 人口減少（自然減と社会減）に歯止めをかける

急激に人口が減少している状況に歯止めをかけ、将来的にある一定水準の人口を保っていくため、

- ①若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえることで出生数を増やし、本町の主な人口減少の要因である自然減を抑制する必要があります。
- ②魅力あるしごとの創出や豊かな生活・教育環境の整備により、本町をより住みやすく魅力ある地域にすることで、町内に人を呼び込み、若い世代の町外への流出を防ぎ、確実な社会増への転換を図る必要があります。特に、時代とともに変遷する社会のニーズに対応した地域社会を創る必要があります。

(2) 当面避けられない人口減少から生じる諸課題に的確に対応する

(1) の策を講じて、現在の少子化・高齢化の状況に鑑みれば、人口減少は続くものと見込まれるため、

- ①地域の主体性と創意のもとに、地域の資源や人材を生かし、効率的・効果的な社会・経済システムの構築を通じた持続可能な地域づくりを進める必要があります。
- ②生産年齢人口を見直し、高齢者が引き続き社会で活躍し続ける仕組みを構築し、若年層を補足する必要があります。

そこで、総合戦略では、次の3つの基本目標を設定し、自然減に対し、合計特殊出生率の目標値として、2014（平成26）から2018（平成30）年の5カ年平均1.98を、2030（令和12）年には2.07まで引き上げること、社会減に対する目標値として5年後には転入転出の移動率が均衡に達し社会増を目指していくという将来の目標に向かって、直面する今後5年間の取組を推進します。

【3つの基本目標】

I 活力ある元気なまち

（地域経済の持続的発展のための「しごと」を創る）

II 安心して暮らせるまち

（少子化対策や共に支え合うひとづくりの推進による「ひと」を増やす）

III 町民みんなが創るまち

（地域の持続的発展のための活力維持による「まち」を創る）

3 重点戦略

湯梨浜町総合戦略では、「活力ある元気なまち」、「安心して暮らせるまち」、「町民みんなが創るまち」の3つの基本目標に沿って、先駆的・重点的に取り組む施策を展開します。

基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち

活力ある元気なまちづくりを行うため、地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
温泉宿泊客数	17万人（年間）
新規就業者数（常用雇用）	200人（年間）

●基本的方向

- 二十世紀梨等の特産物を活かした果物大国を目指す農業、東郷池のシジミや日本海の豊富な水産物を活かした漁業、町土の半分を占める森林を活かした林業、地場産業の振興に努めます。
- 温泉や歴史・文化、自然・健康、環境を活かした観光の振興を図り、交流人口の増加に努めます。
- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かしたまちづくりを推進します。
- 行政、町内の様々な団体、企業などによる連携体制を強化し、商工業の発展に努めます。
- 企業の新規立地や付加価値向上のための様々な取り組みを行うことにより、人材育成と雇用の確保に努めます。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①農林水産業の振興

《具体的施策》

- 二十世紀梨等の特産物を活かした「果物大国」の推進
- 新規就農者の増加支援、担い手確保・育成、集落営農化の促進
- 農林水産物や食など地域の魅力を活かした名産・名物の開発・販路開拓
- 遊休農地及び耕作放棄地解消への対策
- 東郷池や日本海の豊富な水産物を活かした漁業の振興
- 森林を活かした林業の振興

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
梨栽培面積	138ha	130ha

梨新品種への改植・新植	6.09ha	5.0ha (R2~6)
新規就農者	16人	26人
認定農業者(家)数	47経営体	57経営体
GIマーク、商標権、意匠権等の取得件数	1件	3件 (R2~6)
利用権設定面積	264.9ha	300ha
シジミの漁獲量	556t	560t (R2~6)
漁業経営体数	40経営体	40経営体

《具体的事業》

- 農産物販路拡大及びブランド化推進事業
- 鳥取梨等生産振興事業(農業生産現場強化事業)
- 東郷梨地域連携栽培プロジェクト事業
- 二十世紀梨を守る事業
- 湯梨浜版担い手認定
- 中核的担い手農家育成奨励金交付事業(農業生産現場強化事業)
- 知的所有権取得支援
- パッケージデザイン作成助成事業
- 東郷湖漁業振興事業
- 沿岸漁業活性化推進事業
- 特産果物生産振興事業
- 森林環境税関連事業
- ゆりはま農作業体験ツアー

②観光産業の振興

《具体的施策》

- 「グラウンド・ゴルフ」や「ウォーキング」など本町の特性を活かし、国内はもとよりインバウンドを推進
- はわい温泉・東郷温泉を活かした観光地としての魅力向上(滞在型観光・周遊観光の推進)
- 天女のふる里づくり事業による、交流人口の増加と地域の活性化の推進
- 観光客に対応したWi-Fiの整備、誘客キャンペーンなどの推進(多言語対応、利便性の向上)
- 戦略的な情報発信と着地型や体験型の観光メニュー造成、誘客

《重要業績評価指標(KPI)》

指標	基準値	目標値
海外からのイベント参加者数	816人	2,296人
海外からのイベント参加国数	22カ国	32カ国
外国人宿泊者数	4,018人	8,500人以上 (年間)
着地型観光商品利用者数	1,155人 (年間)	2,000人以上 (年間)

《具体的事業》

- グラウンド・ゴルフ国際化及び潮風の丘聖地化の推進
- ウォーキングリゾート構想の推進及びインバウンドの促進

- アロハカーニバル事業
- 天女のふる里づくり事業
- 観光地域づくりの核となる「DMO」の推進（広域連携）
- 教育旅行のメニュー開発事業
- ゆうゆうゆりはま事業
- 食と健康のまちづくり事業

③商工業の振興

《具体的施策》

- 事業所の新設や新分野への進出、新製品開発、6次産業化等に対する支援
- 地元資源を活用した町内商工業者の振興と活性化の推進
- ICTを活用したコンテンツ系企業など企業誘致の推進
- 商工団体など関係機関と連携した事業承継の推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した起業事業者数	32件	25件 (R2~6)
事業承継に着手した事業者数	—	5事業者

《具体的事業》

- ゆりはまじげ産業支援事業
- チャレンジショップ支援事業
- アロハカーニバル事業（再掲）
- ふるさと名物応援事業
- 環境創出プロジェクト事業

④雇用の推進

《具体的施策》

- 地場産業の振興、起業家支援、企業誘致や雇用奨励制度などによる雇用の創出
- 就職情報提供による企業と学生とのマッチング促進
- 高齢者の経験や知識を活用した就労の支援

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
支援制度を活用した雇用者数	14人	15人 (R2~6)

《具体的事業》

- 看護師、保育士奨学金助成事業
- チャレンジショップ支援事業（再掲）
- 雇用促進奨励金事業
- 就職関連情報提供事業
- 企業誘致用地等情報提供事業
- ビジネス人材移住支援事業

基本目標Ⅱ 安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境を整備するとともに、出会いと、子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が笑顔にあふれ、いつまでも健康で生きがいの持てる安心、安全のまちづくりを推進します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
合計特殊出生率	2.07
出生数	150人（年間）

●基本的方向

- 全国的に急速な少子化が進み、また、家庭及び地域を取り巻く環境が変化する中で、安心して子どもを産み育てるための総合的な支援施策や福祉施策の実施を推進します。
- 共に支え合い安心して暮らせるまちづくりを推進するため、お年寄りや障がいのある人を地域で支える取り組みを推進します。
- 人との絆や地域のつながりを活かしながら出会い・結婚を望む方を応援します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①子育て環境の推進

《具体的施策》

- 安心して子育てができる保育サービスの充実など環境整備の推進（子育て世代の経済的な負担の軽減）
- 妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を行うワンストップ化の推進
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、開かれた学校づくりなど、地域で子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりの推進
- 子どもたちの健やかな成長を地域全体で支える教育環境づくりの推進
- 地域の中で育ち、湯梨浜のすばらしさを体感し、ふるさとに愛着を持ち大切に守っていかうとするふるさと教育の推進
- 仕事と生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスの環境づくりを事業者とともに推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
2歳未満児を家庭で子育てする率	—	70.3%
第3子以降出産数	145人	150人(R2~6)
こども園待機児童数	4人	0人
自主学習の広場利用者数	小学生 259人	小学生 509人

	中学生 83人	中学生 183人 (R2~6)
ふるさとを愛する児童の割合	87.4%	85%以上
鳥取県男女共同参画推進企業の認定企業数	16社	21社
イクボス宣言企業数	—	17社

《具体的事業》

- 家庭子育て支援事業
- 多子世帯保育料軽減事業
- 第3子以降中学校卒業祝金支給事業
- 子育て世代包括支援センターの整備
- 不妊治療費助成事業
- ファミリーサポートセンター事業の充実
- 病児・病後児・夜間保育事業（広域連携）
- 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の推進
- SNS等による子育て支援情報の提供
- ゆりはま自主学習の広場事業
- 学校支援ボランティア事業の推進
- ふるさと教育の推進
- 小学校社会科副読本作成事業
- ワーク・ライフ・バランスセミナー事業

②地域福祉の推進

《具体的施策》

- 地域や個人に密着した健康づくりの推進
- ボランティアとして地域の自主的な介護予防や健康づくり活動の指導や支援の推進
- 保健師等による定期的な訪問による、相談体制の充実を図る
- 町民や移住者が健康で生涯活躍ができるまちを推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業に参画する民間事業者・団体数	30団体	35団体
食と健康のまちづくり事業による測定数値改善割合	55.32%	70%以上

《具体的事業》

- 地域で取り組む介護予防活動推進事業
- 歯・口の健康づくり推進事業
- 健康相談・健康教室等の実施
- 鳥取看護大学による「まちの保健室」との連携
- SIBを活用した飛び地型自治体連携事業（食と健康のまちづくり事業）
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進

③結婚の出会いの場づくりと情報提供

《具体的施策》

- 結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進
- 出会いや交流機会が広がるよう、広域連携を含めた出会いの場づくりの推進

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
結婚支援事業による婚姻件数	1件	6件

《具体的事業》

- 縁結び支縁員事業
- 婚活イベント事業（広域連携）

実施内容	期待効果
（仮）婚活イベント	婚活イベントへの参加者増加
（仮）婚活イベント	婚活イベントへの参加者増加

（以下は表の下の説明文）

本事業は、結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進を図ることを目的とする。具体的には、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。また、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。また、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。

（以下は表の下の説明文）

本事業は、結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する縁結び支縁員の活動を支援するとともに情報提供を行い、少子化・定住化対策の推進を図ることを目的とする。具体的には、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。また、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。また、婚活イベントの開催や、婚活イベントへの参加者増加を図ることを目指す。

実施内容	期待効果
（仮）婚活イベント	婚活イベントへの参加者増加
（仮）婚活イベント	婚活イベントへの参加者増加

基本目標Ⅲ 町民みんなが創るまち

豊かな自然環境を活かしながら本町の魅力を発信し、都市部からのひとの流れをつくとともに、町民一人ひとりが積極的にまちづくりに参画し、町民と行政が連携・協働してまちづくりを推進します。

《SDGsの関連目標》



●数値目標（令和6年度）

指標	数値目標
県外からのI J Uターン者数	925人 (R2~6)
転入転出異動	均衡【累計】

●基本的方向

- 超高齢化の進行や社会情勢の変化により、人口減少・空き家が増加していることから、町の魅力を積極的に発信しながら、移住希望者への支援体制を整備し、移住定住を促進します。
- 生活様式や個人の価値観が多様化する中、今以上にコミュニティーの醸成を図るため、町民や団体が主体となっていくまちづくり活動を支援します。
- 地域住民が主体的・意欲的に取り組む地域を守る防災体制づくりや、だれもが参加しやすい拠点づくり、基盤整備を推進します。
- NPO法人、ボランティアグループの育成を図り、各分野における住民参画を促進します。

●具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

①移住定住の推進

《具体的施策》

- 多様な移住ニーズに対応する相談体制の充実やI J Uターンの促進に向け広く本町の魅力を発信
- 若者夫婦や子育て世代の住宅支援をはじめ、町内への移住や定住を促進
- 空き家を活用して移住希望者が求める住まい環境づくりを推進
- 移住定住希望者が本町の暮らしを体験できるよう、お試し住宅の設置や環境づくりを図る
- 鳥取大学等との連携による「地（知）の拠点COC+」事業に参画し、地域の活性化・定住化につながる人材の育成を図る

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
空き家バンク成約件数	13件	20件 (R2~6)
若者・子育て世代の移住件数	91件	90件 (R2~6)

《具体的事業》

- I J Uターン促進事業
- 空き家情報バンク活用促進事業

- 空き家対策事業
- 移住定住者住宅支援事業
- 町外者による「ゆりはま暮らし体験ボランティア」の宿泊費助成事業
- 若者夫婦・子育て世代住宅支援事業
- 三世同居等支援事業
- 移住者運転免許取得支援事業
- 住宅取得仲介報酬助成事業
- お試し住宅運営事業
- ふるさと奨学資金貸与事業〈再掲〉
- 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」事業の推進〈再掲〉

②まちのにぎわい創出や拠点の形成

《具体的施策》

- 町民や団体が主体となって創意工夫による魅力的な地域づくり活動を支援
- 災害に強いまちづくりを進めるため、地域住民が主体的・意欲的に取り組む防災対策を推進
- いつでも、誰もが集える拠点を整備するためバリアフリーなど環境づくりを推進
- 分散している様々な生活サービスや地域活動の場などをつなぐ「小さな拠点」づくりを推進するほか、企業等と連携した移動販売や買い物支援など多機能なサービスの充実を図る
- 山陰自動車道（北条道路）の観光・企業誘致への活用及び緊急時、福祉、健康対応のためのユニバーサルデザインによる道路などの基盤整備を推進
- 地域に伝わる伝統芸能活動や文化資源の活用による地域振興
- ICTの急速な進化がもたらす社会への対応
- 地域資源を有効活用した「癒しの地域づくり」の推進
- 温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用を図る
- 環境・健康づくり・福祉・教育等様々な分野における団体の育成を図り、自助・共助を推進するほか、住民参画による行政推進を目指す
- 観光地周辺の道路などの基盤整備を推進
- 地域課題の解決や将来的な移住への裾野を拡大するため、地域住民との交流や町との関わりを継続する関係人口の創出、拡大を目指す

《重要業績評価指標（KPI）》

指標	基準値	目標値
新規自主防災組織取組件数	71件	75件
集会所バリアフリー件数	19件	44件
小さな拠点の数	0地域	1地域
温泉熱エネルギー利用施設数	3施設	4施設
NPO法人、ボランティアグループの数	48団体	55団体

《具体的事業》

- 地域おこし協力隊事業
- 地域のにぎわい、まちづくりを創出する事業への支援
- 防災対策特別強化事業
- 小地域拠点集会所等バリアフリー事業
- 買い物難民対策事業

- 小さな拠点事業の推進
- ICT推進事業
- 大学生によるフィールドスタディ型政策協働プログラム
- ふるさと納税推進事業
- 企業版ふるさと納税推進事業

（注）本計画は、関係機関との連携を前提として策定されたものであり、関係機関との連携が不十分である場合は、本計画の進捗に影響を及ぼす可能性があります。

（注）本計画の進捗状況は、関係機関との連携を前提として策定されたものであり、関係機関との連携が不十分である場合は、本計画の進捗に影響を及ぼす可能性があります。

（注）本計画は、関係機関との連携を前提として策定されたものであり、関係機関との連携が不十分である場合は、本計画の進捗に影響を及ぼす可能性があります。

（注）本計画の進捗状況は、関係機関との連携を前提として策定されたものであり、関係機関との連携が不十分である場合は、本計画の進捗に影響を及ぼす可能性があります。

項目	進捗状況	備考
計画A	完了	関係機関との連携が十分であった。
計画B	進行中	関係機関との連携が不十分である。
計画C	計画中	関係機関との連携が不十分である。
計画D	計画中	関係機関との連携が不十分である。
計画E	計画中	関係機関との連携が不十分である。

（注）本計画は、関係機関との連携を前提として策定されたものであり、関係機関との連携が不十分である場合は、本計画の進捗に影響を及ぼす可能性があります。